

統計から見る長野県観光の現況

長野県観光部

平成24年3月



目次

➤目次	1
➤各種調査の説明	2

全国の観光動向

➤ 宿泊旅行の現状	3
➤ 観光消費額の現状	4
➤ 訪日外国人旅行者数	5

長野県観光の姿

➤ 観光旅行者の推移	6
➤ スキー場利用者の推移	7
➤ 外国人宿泊者数の推移	8

全国における長野県のポジション

➤ 観光旅行者数(宿泊者数)	9
➤ 観光消費額	10
➤ 宿泊施設数	11
➤ 客室稼働率	12

長野県観光客のプロフィール

➤ 観光客の属性(性別)	13
➤ 観光客の属性(年齢構成)	14
➤ 観光客の属性(居住地①)	15
➤ 観光客の属性(居住地②)	16
➤ 交通手段	17
➤ 同行者の状況	18
➤ リピーターの状況	19

長野県観光の持ちあじ

➤ 旅行者の満足度	20
➤ 長野県の魅力	21
➤ 長野県への旅行の目的	22
➤ 長野県への旅行を選んだ理由	23
➤ 旅行者の来訪意向	24
➤ 旅行タイプと旅行先①	25
➤ 旅行タイプと旅行先②	26
➤ 長野県への旅行における潜在需要	27
➤ 旅行者の周遊エリア(観光地点別①～③)	28
➤ 県外旅行者の周遊エリア	31
➤ 地域ブランドランキング	32

まとめ

➤ 統計データから見えてくるもの	33
------------------	----



各種調査の説明

観光地利用者統計調査(長野県)

- 調査方法 市町村で観光施設等へ調査を実施し、県が集計。
- 調査対象 県内288か所の観光地(平成22年)
- 数値の定義 延利用者数・・・日帰り客数と宿泊客数の延数の合計

スキー・スケート場利用者統計調査(長野県)

- 調査方法 市町村でスキー場へ調査を実施し、県が集計。
- 調査対象 県内のスキー場
- 数値の定義 延利用者数

外国人宿泊者数調査(長野県)

- 調査方法 政府登録ホテル・旅館、ウェルカムイン及び市町村が対象とした施設へ照会、県が集計。
- 調査対象 647施設(平成22年)
- 数値の定義 延宿泊者数

観光地点パラメータ調査(長野県)

- 調査対象 県内観光地を訪れている旅行者
- 調査方法 観光地点(12か所)で四半期ごとに対面式アンケートを実施
- 調査サンプル数(平成22年度)
回答者数・・・4,272
サンプル数・・・20,347 ※サンプル数は同行者を含めた総数
- 調査地点
・プリンスショッピングプラザ(軽井沢町) ・懐古園(小諸市)
・上田城跡(上田市) ・諏訪大社上社(諏訪市) ・羽広温泉(伊那市)
・松本城(松本市) ・堀金物産店道の駅(安曇野市)
・道の駅木曽ならかわ(塩尻市) ・道の駅小谷(小谷村)
・斑尾高原(飯山市) ・善光寺(長野市) ・志賀高原(山ノ内町)

じゃらん宿泊旅行調査2011(株)じゃらんリサーチセンター)

- 調査対象 国内在住の20～79歳の男女
- 調査方法 インターネット調査
- 調査時期 2011年4月
- 調査内容 2010年4月～2011年3月において実施した宿泊を伴う国内旅行(出張・帰省・修学旅行等を除く)について
- 調査サンプル数
【1次調査】 80,000人回収(宿泊旅行実施の有無について)
【2次調査】 ・宿泊旅行実施者 15,513サンプル
・旅行件数 31,023件(うち、長野県への旅行件数1,383件)

じゃらngo当地調査2010(株)じゃらんリサーチセンター)

- 調査対象 国内在住の20～69歳の男女
- 調査方法 インターネット調査 調査時期 2009年12月
- 調査サンプル数 該当都道府県について回答するサンプル数はおよそ100名ずつ
①地元定着者・・・99名 ②上京者・・・99名 ③首都圏定着者・・・100名

旅行動向2011((財)日本交通公社)

- 調査対象 全国18歳以上の個人
- 調査方法 インターネット調査
- 調査時期 トリップ調査2010年12月 オムニバス調査2010年12月
- 調査内容 旅行マーケットはトリップ調査データを使用し、2006年から2010年までの5年分のデータを旅行先別に分析
行ってみたい旅行はオムニバス調査による参加希望率の集計
- 調査サンプル数 トリップ調査8,000
オムニバス調査3,000

JTB宿泊統計年報2011(株)ツーリズム・マーケティング研究所)

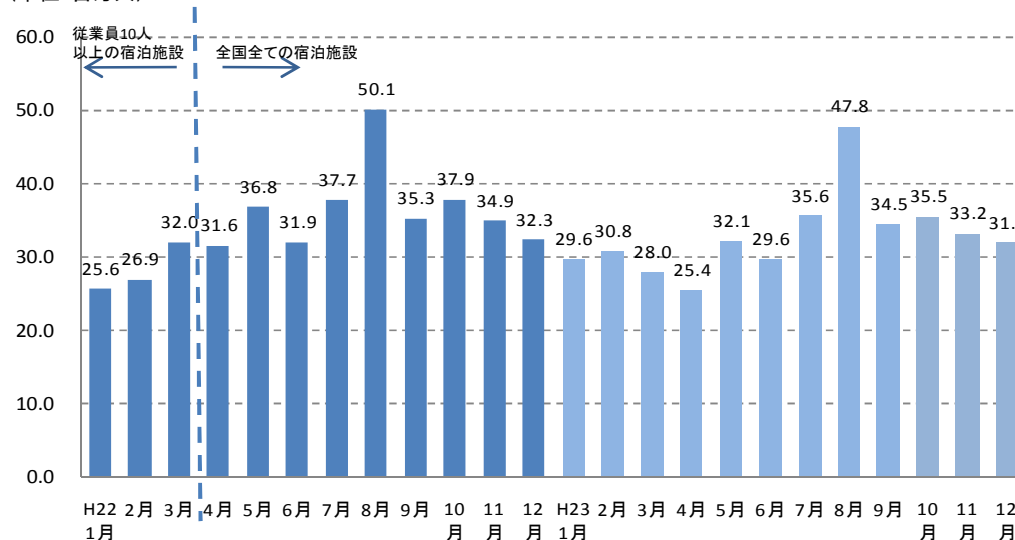
- JTBアンケートの概要
・宿泊施設の品質・サービス向上を目指して利用宿泊施設の満足度をはかる「宿泊アンケート」を実施。
・2010年度のアンケート回収数は約50万6千枚。

全国の観光動向

宿泊旅行の現状

■月別延べ宿泊者数の推移（平成22年1月～平成23年12月）

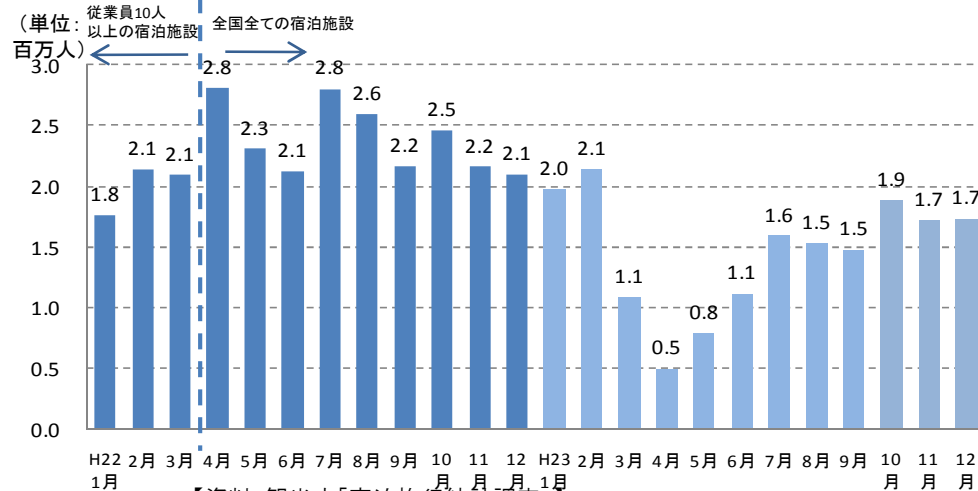
（単位：百万人） ※H22.1～12は確定値、H23.1～12は暫定値を使用 ※外国人含む



【資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」】

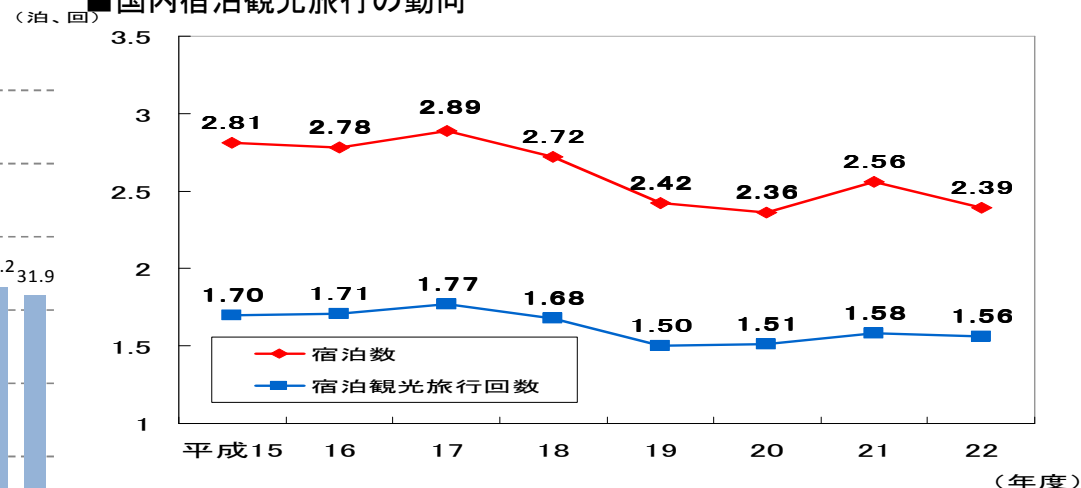
■月別外国人延べ宿泊者数の推移（平成22年1月～平成23年12月）

（単位：百万人） ※H22.1～12は確定値、H23.1～12は暫定値を使用 ※延宿泊者数の内数



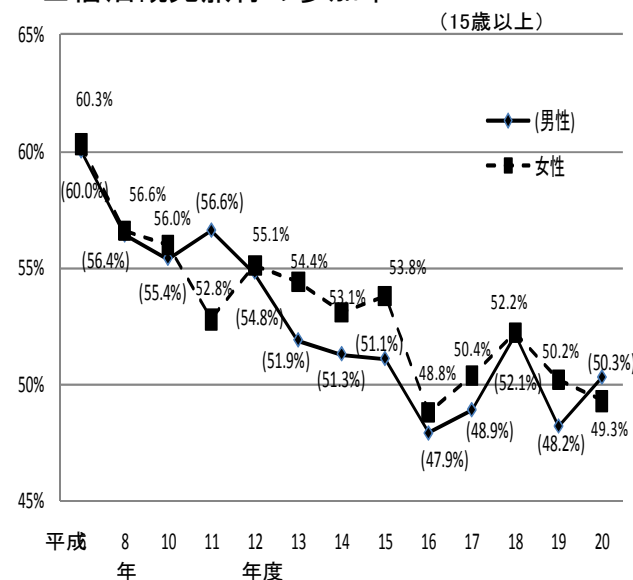
【資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」】

■国内宿泊観光旅行の動向



【資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」】

■宿泊観光旅行の参加率



【資料：日本観光協会「観光の実態と志向(第28回)」'10(平22)年2月】

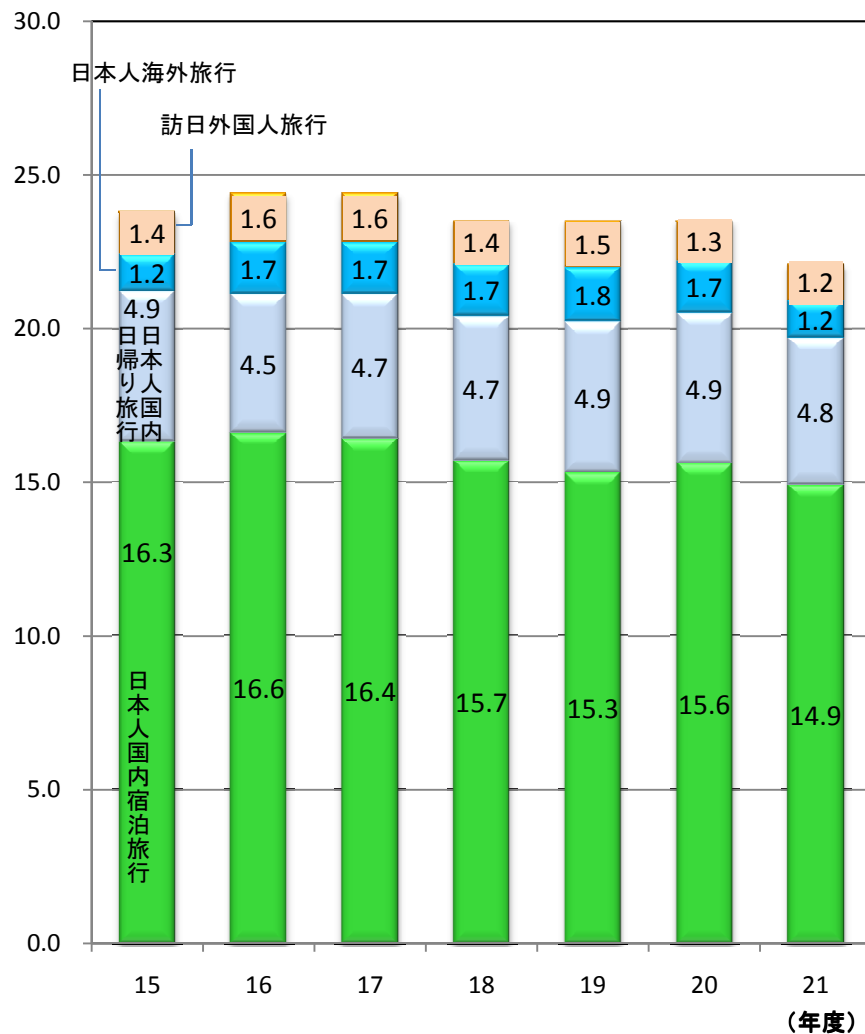
■宿泊観光を実施しなかった理由

	H4	H15	H20
時間的余裕がない	38.0	44.4	38.6
経済的余裕がない	18.7	26.7	28.9
なんとなくしないまま過ぎた	19.8	20.8	18.9
家を離れられない事情があった	18.3	17.0	18.3
健康上の理由で	12.3	13.9	14.6
出張等で観光もしたから	7.1	5.6	6.9
他にやりたいことがある	4.4	5.4	5.2
計画や準備が面倒	3.6	3.8	3.9
一緒に行く人がいない	2.7	3.8	3.8
行きたいと思うところがない	3.3	4.9	4.6
旅行は嫌いだから	3.9	3.2	2.6
海外旅行の方をしたい	0.6	2.5	2.2
その他	7.0	7.8	9.0

全国の観光動向

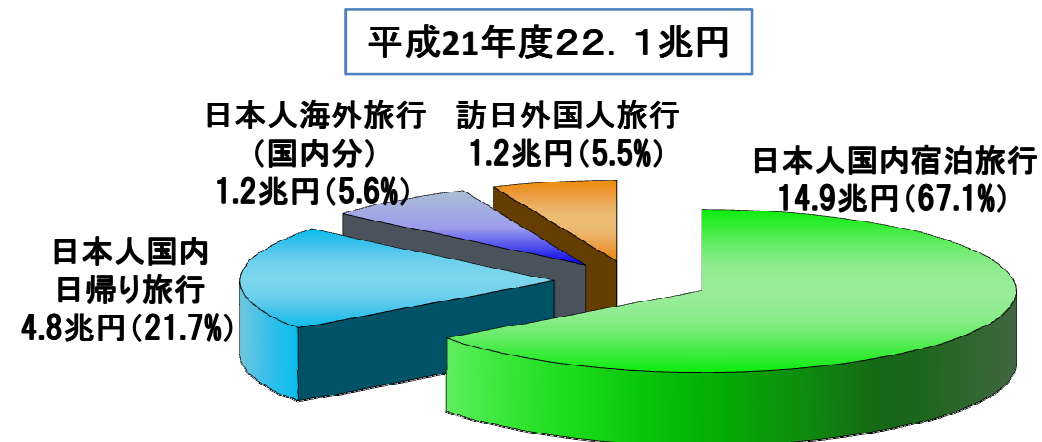
観光消費額の現状

■国内旅行消費額の推移(平成15年～平成21年)
(兆円)



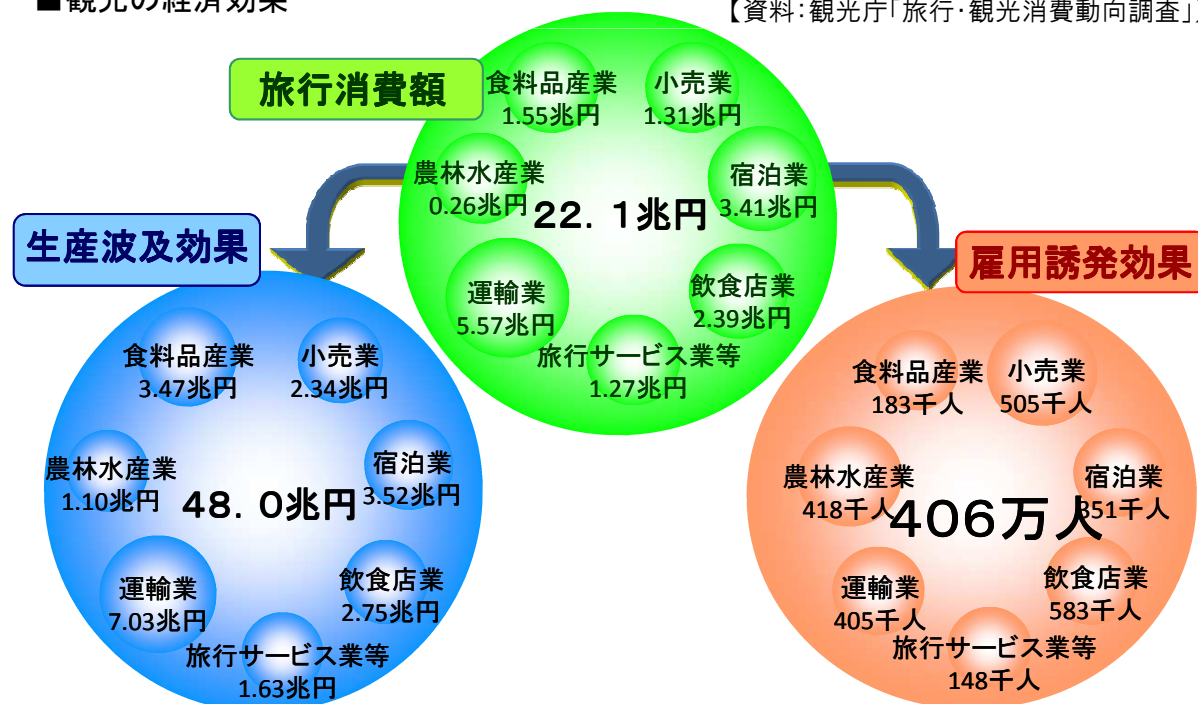
【資料:観光庁「旅行・観光消費動向調査」】

■国内旅行消費額の内訳



【資料:観光庁「旅行・観光消費動向調査」】

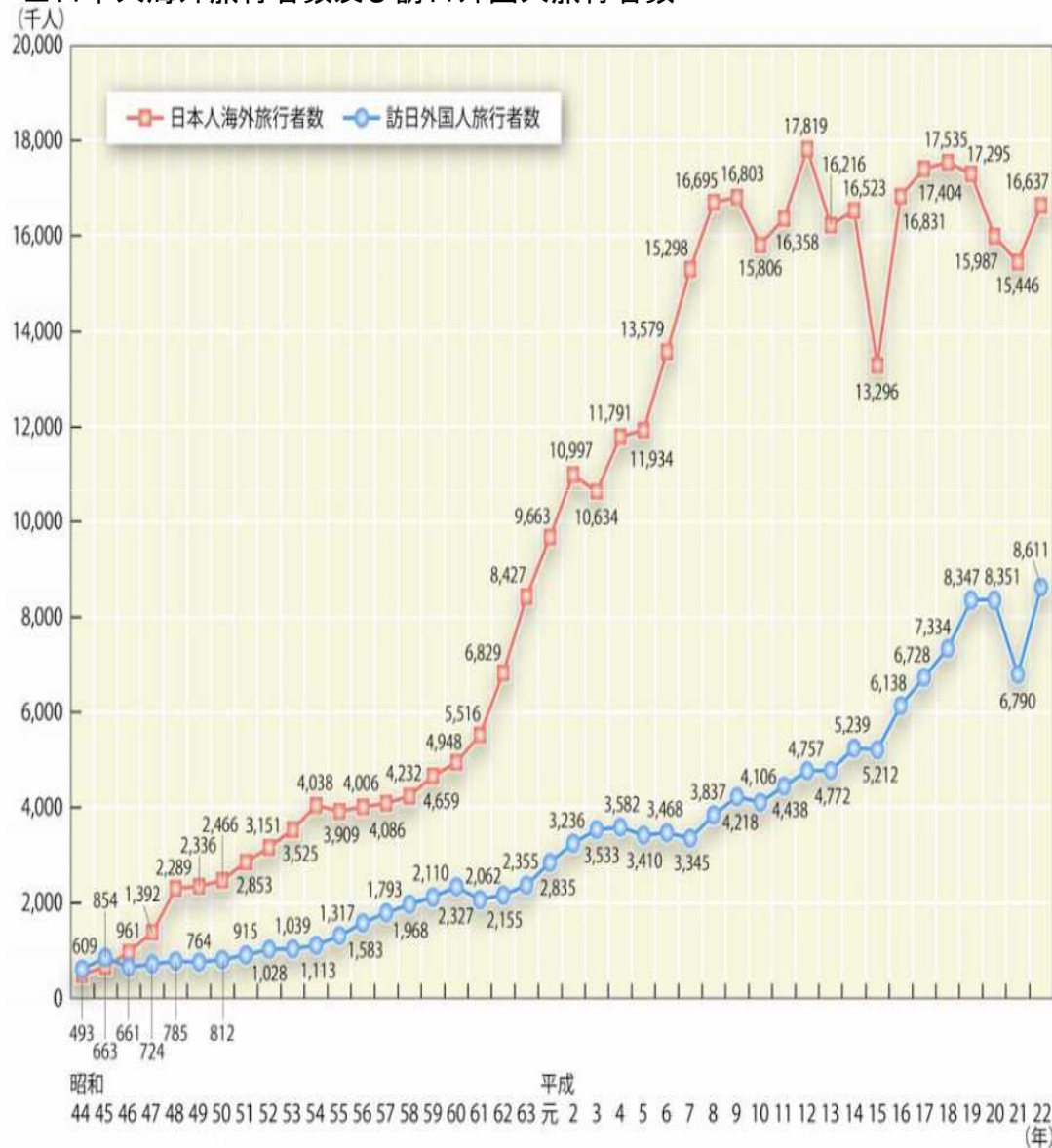
■観光の経済効果



【資料:観光庁「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」による】

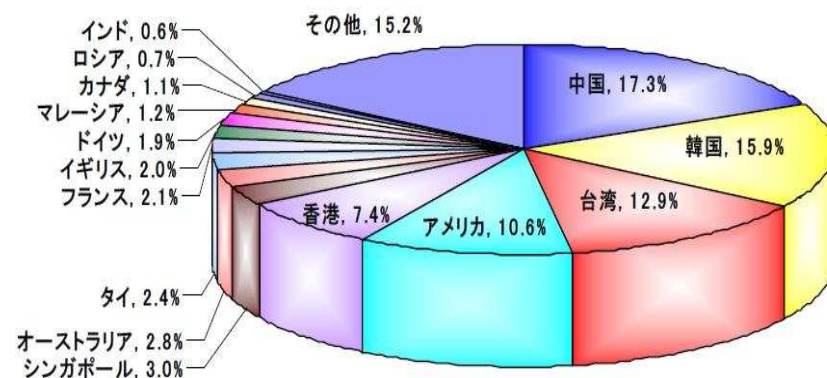
訪日外国人旅行者数

■日本人海外旅行者数及び訪日外国人旅行者数



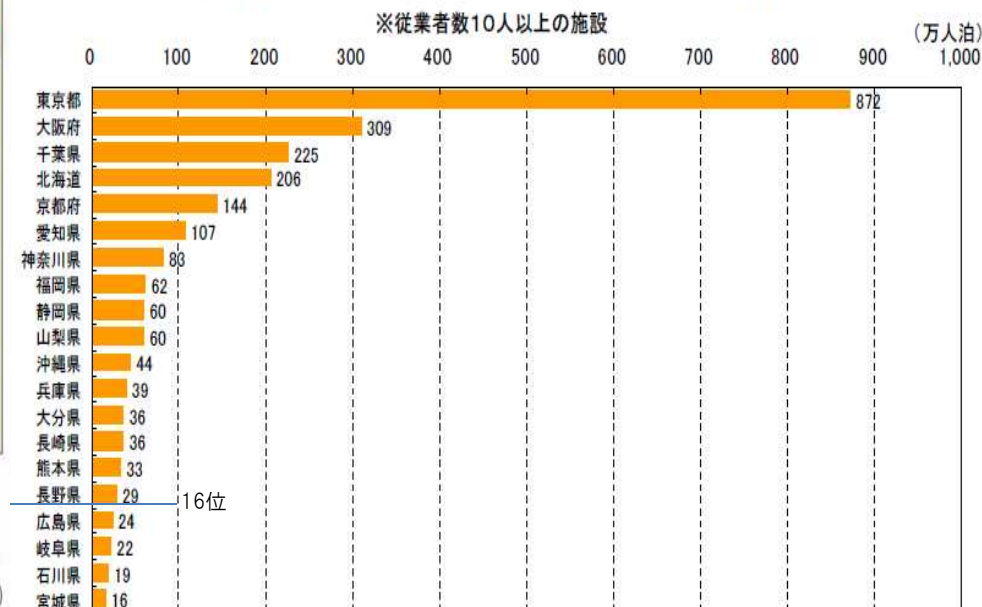
【資料：法務省及び(独)国際観光推進機構(JNTO)資料に基づき観光庁作成】

国籍別外国人延べ宿泊者数(平成22年1月～12月)



【資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」】

都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成22年1月～12月)

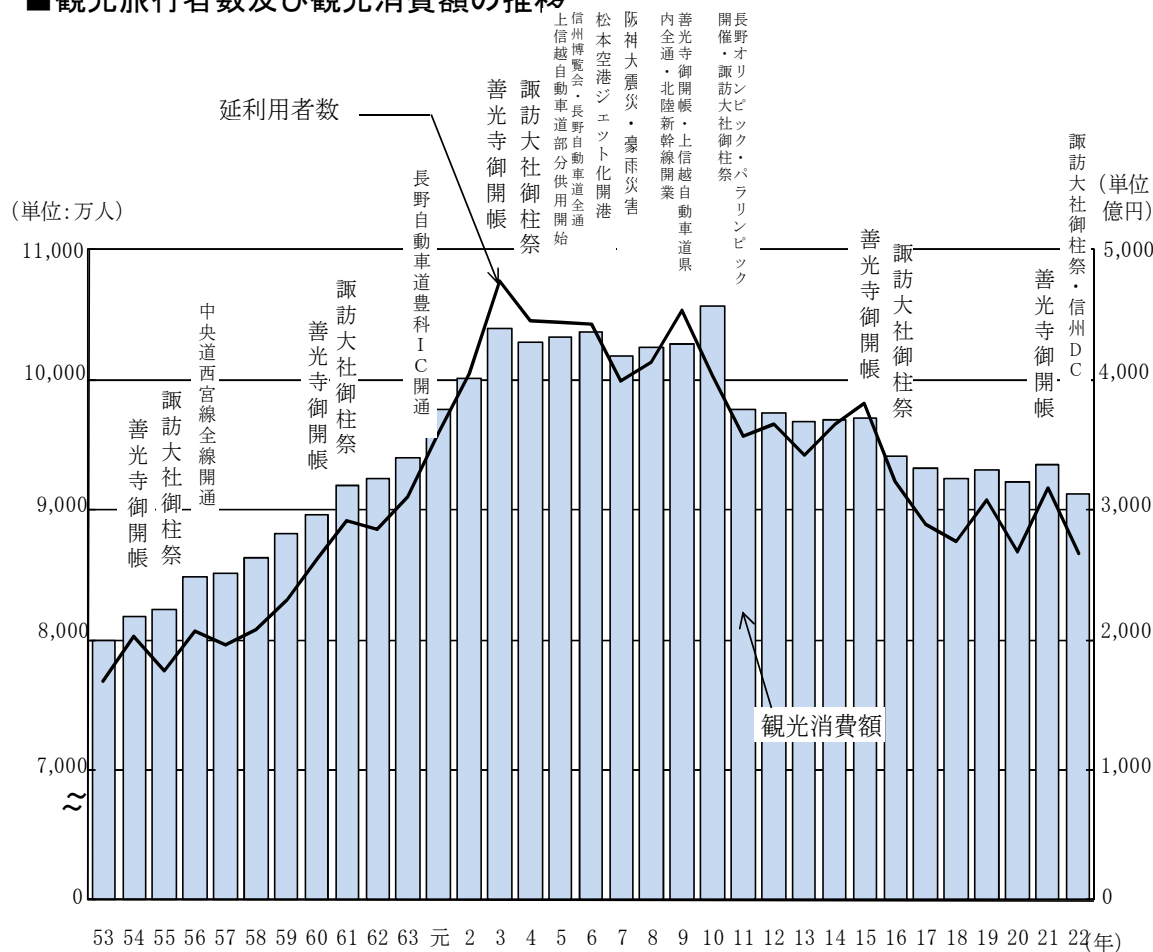


資料：【観光庁「宿泊旅行統計調査」】

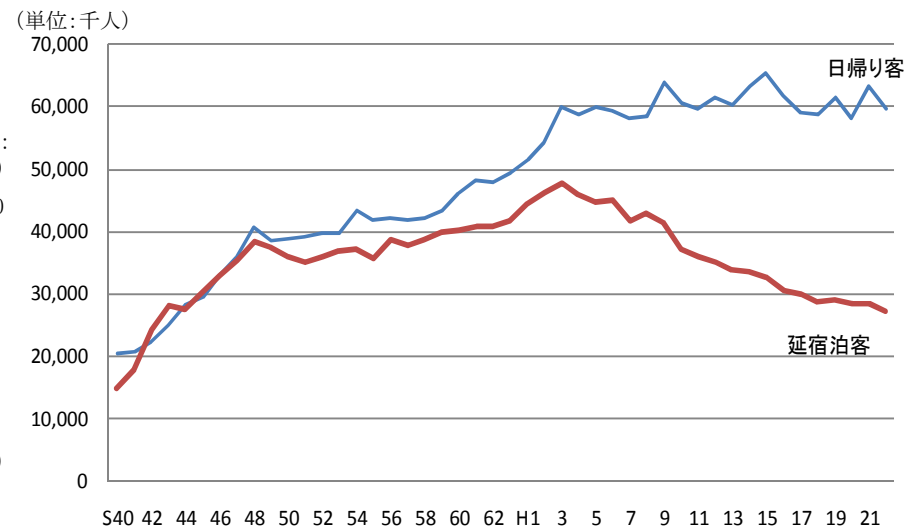
観光旅行者の推移

観光地利用者統計調査(長野県)

■観光旅行者数及び観光消費額の推移



■日帰り客と延宿泊者の推移



➤長野県の観光旅行者数は平成3年をピークに減少傾向にある。

➤観光消費額についても長野オリンピック開催の平成10年をピークに減少している。

➤要因

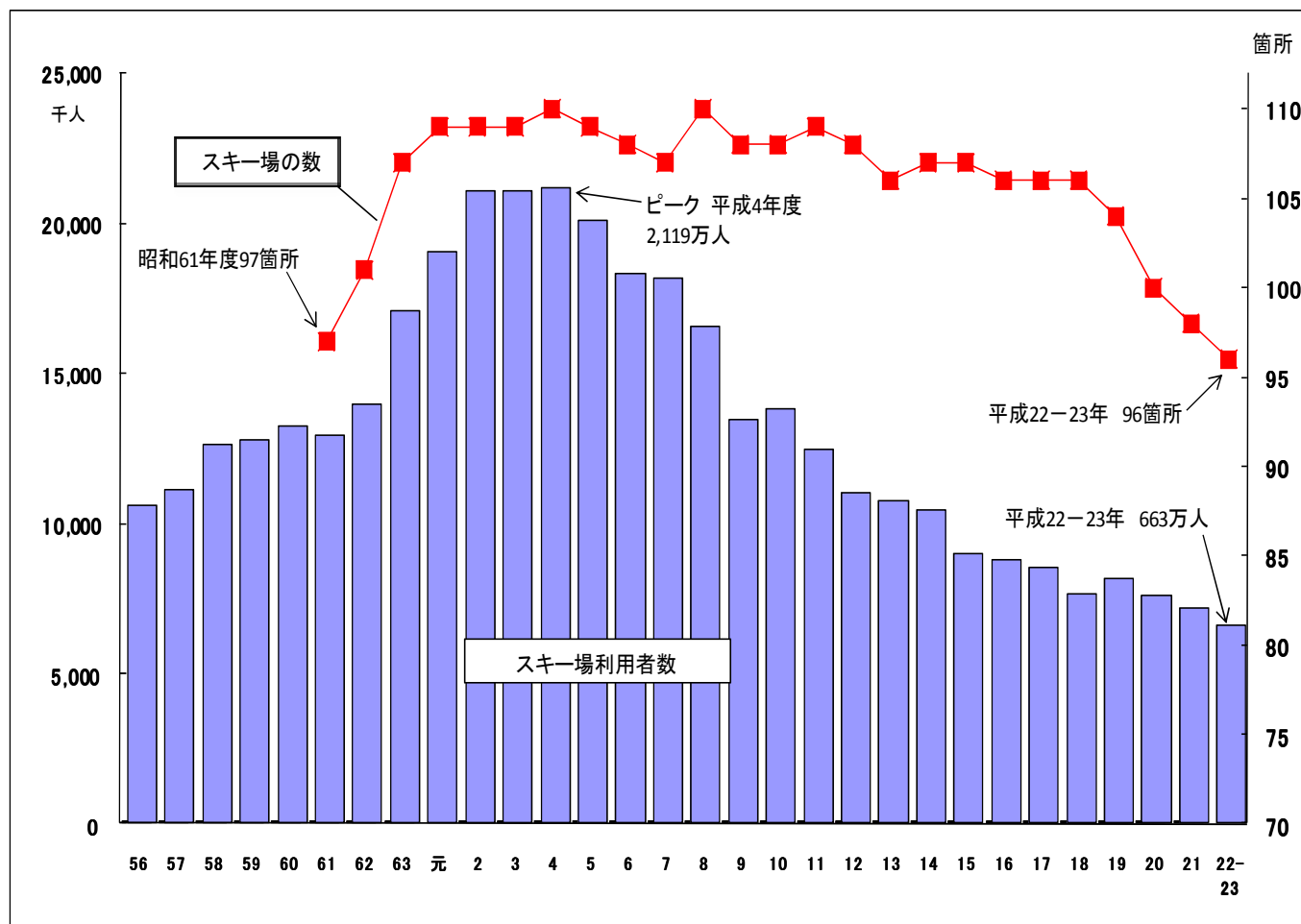
- ・リーマンショックや円高による景気後退
- ・団体旅行から個人旅行へ旅行形態が変化
- ・スキー客の減少
- ・高速交通網の整備に伴う日帰り圏化

区 分	昭和53年	平成3年	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
延利用者数	7,682	10,764	9,571	9,663	9,420	9,665	9,821	9,229	8,894	8,756	9,073	8,675	9,174	8,667
対前年伸び率	-	7.1	△ 4.6	1.0	△ 2.5	2.6	1.6	△ 6.0	△ 3.6	△ 1.6	3.6	△ 4.4	5.8	△ 5.5
観光消費額	1,997	4,403	3,772	3,752	3,685	3,693	3,710	3,410	3,318	3,241	3,311	3,217	3,349	3,119
対前年伸び率	-	9.6	△ 17.4	△ 0.5	△ 1.8	0.2	0.5	△ 8.1	△ 2.7	△ 2.3	2.1	△ 2.8	4.1	△ 6.9

スキー場利用者の推移

スキー・スケート場利用者統計調査(長野県)

■スキー場利用者数とスキー場数の推移

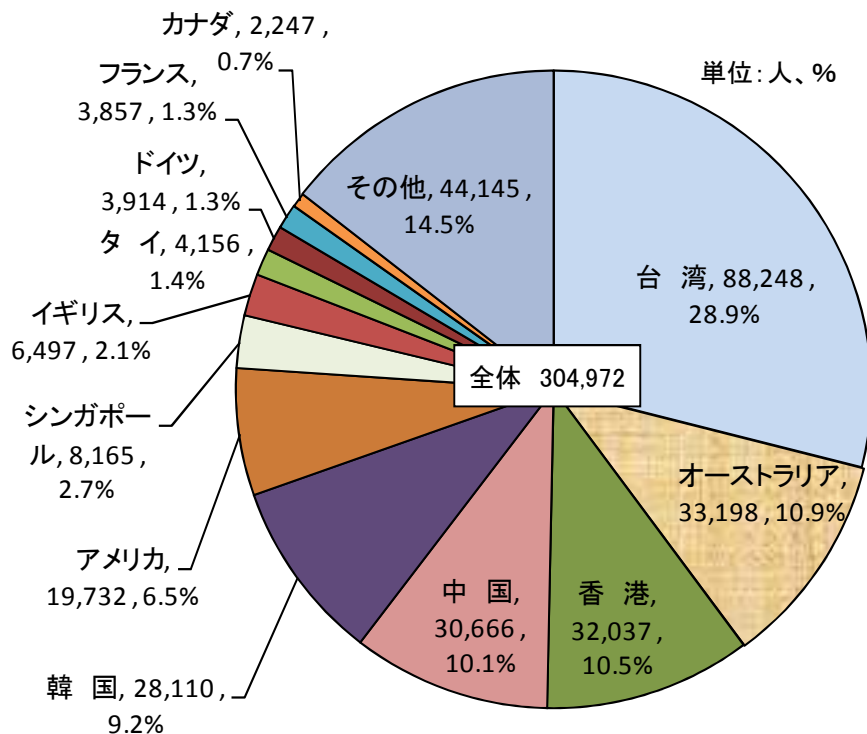


- スキー場利用者数は平成4年度をピークに急激に減少、平成22-23年は663万人でピーク時の3割程度に落ち込んでいる。
- スキー場数については、平成18年以降減少傾向が続き、平成22-23年は96箇所となっている。

外国人宿泊者数の推移

外国人宿泊者数調査(長野県)

■国・地域別宿泊者数割合(平成22年)

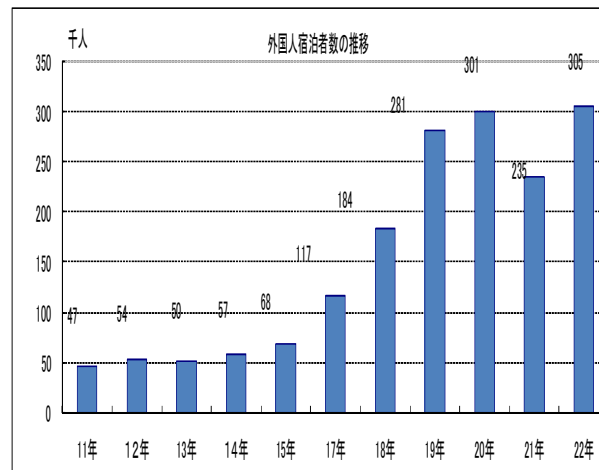


➤国別の割合では台湾が3割以上、アジア地域全体では過半数を占めている。

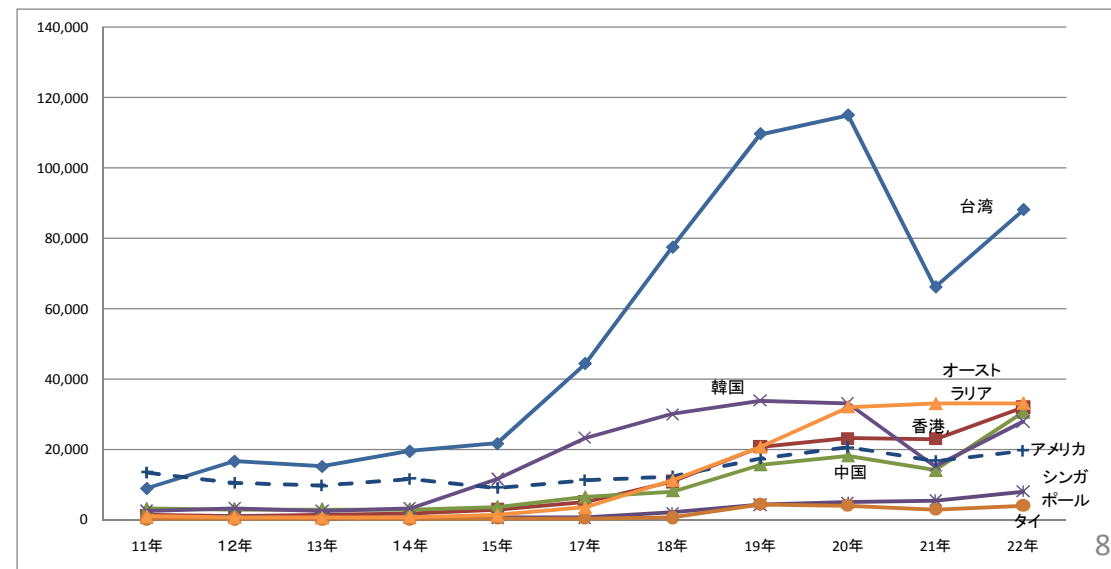
➤平成17年から急激に増加しているが、21年は新型インフルエンザや円高の影響で減少した。

➤平成22年までは、スキーシーズンに訪れるオーストラリアの宿泊者数が増加している。

■外国人宿泊者数の推移(全体)



■主な国別の外国人宿泊者数の推移



(参考)外国人宿泊者数の全国順位(H22)
(万人)

1位	東京都	872
2位	大阪府	309
3位	千葉県	225
4位	北海道	206
5位	京都府	144
6位	愛知県	107
7位	神奈川県	825
8位	福岡県	62
9位	静岡県	60
10位	山梨県	60
11位	沖縄県	44
12位	兵庫県	39
13位	大分県	36
14位	長崎県	36
15位	熊本県	33
16位	長野県	29
17位	広島県	24
18位	岐阜県	22
19位	石川県	19
20位	宮城県	16

資料:【観光庁「宿泊旅行統計調査」】 (単位: 人)

観光旅行者数(宿泊者数)

宿泊旅行統計調査(観光庁)

■延宿泊者数(H22)

(万人)

1位	東京都	4,557
2位	北海道	2,706
3位	大阪府	2,185
4位	千葉県	1,937
5位	静岡県	1,915
6位	長野県	1,679
7位	神奈川県	1,657
8位	沖縄県	1,426
9位	京都府	1,363
10位	愛知県	1,333
11位	福岡県	1,308
12位	兵庫県	1,160
13位	福島県	1,000
14位	栃木県	995
15位	新潟県	928

■実宿泊者数(H22)

(万人)

1位	東京都	3,124
2位	北海道	2,093
3位	大阪府	1,619
4位	静岡県	1,552
5位	千葉県	1,527
6位	長野県	1,316
7位	神奈川県	1,273
8位	福岡県	1,051
9位	愛知県	1,030
10位	京都府	970
11位	兵庫県	895
12位	沖縄県	893
13位	栃木県	850
14位	福島県	802
15位	宮城県	728

※観光目的以外の宿泊者含む

※観光目的以外の宿泊者含む

じゃらん宿泊旅行調査2011

(株)じゃらんリサーチセンター

■延宿泊旅行者数

上位15位ランキング

(万人)

1位	東京都	1,499
2位	北海道	978
3位	神奈川県	837
4位	長野県	816
5位	静岡県	784
6位	京都府	687
7位	大阪府	678
8位	千葉県	593
9位	兵庫県	476
10位	沖縄県	461
11位	福岡県	446
12位	栃木県	401
13位	愛知県	379
14位	群馬県	370
15位	宮城県	359

旅行動向2011

((財)日本交通公社)

■宿泊観光入込客数(試算)

上位15位

(万人/年)

1位	北海道	1,396
2位	長野県	1,206
3位	静岡県	1,159
4位	東京都	988
5位	神奈川県	864
6位	千葉県	833
7位	栃木県	592
8位	京都府	579
9位	兵庫県	522
10位	群馬県	518
11位	沖縄県	481
12位	福島県	438
13位	新潟県	429
14位	大阪府	427
15位	三重県	414

※5年分の「旅行先」の構成比をもとに、都道府県ごとの年間入込客数を試算

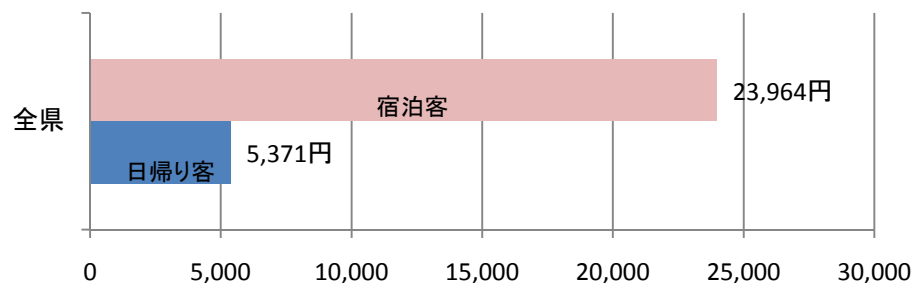
➤宿泊旅行者数は、ビジネス目的等を含む観光庁宿泊旅行統計調査では6位、観光旅行に限定した民間調査では、2位、4位と上位に位置している。

➤どの調査においても、東京都、北海道、静岡県、神奈川県など同じ顔ぶれが上位に位置している。

観光地点パラメータ調査(長野県)

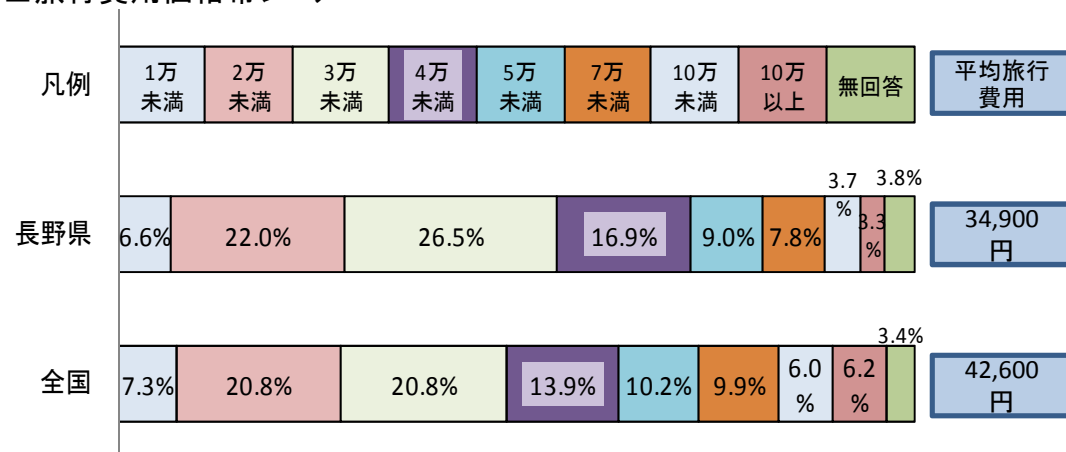
■旅行1回あたりの費用

※パック料金含む 内容:交通費、宿泊費、飲食費、土産代、入場料、その他



旅行動向2011 ((財)日本交通公社)

■旅行費用価格帯シェア



じゃらん宿泊旅行調査2011

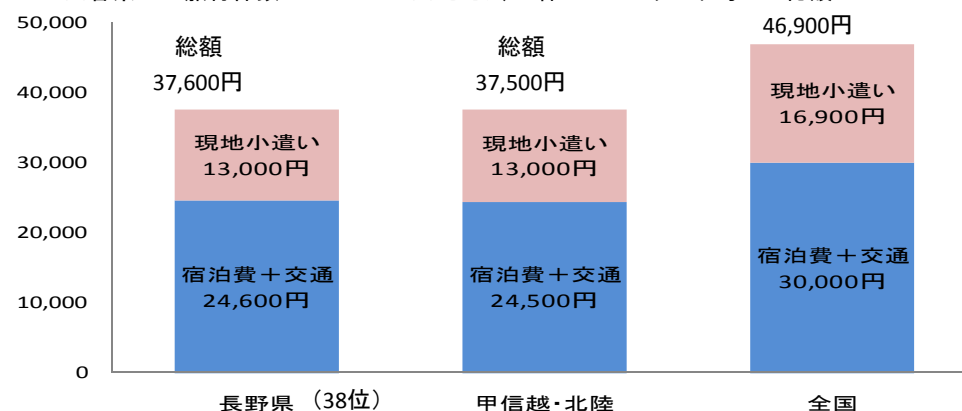
(株)じゃらんリサーチセンター

■宿泊旅行1回あたりにかかった費用

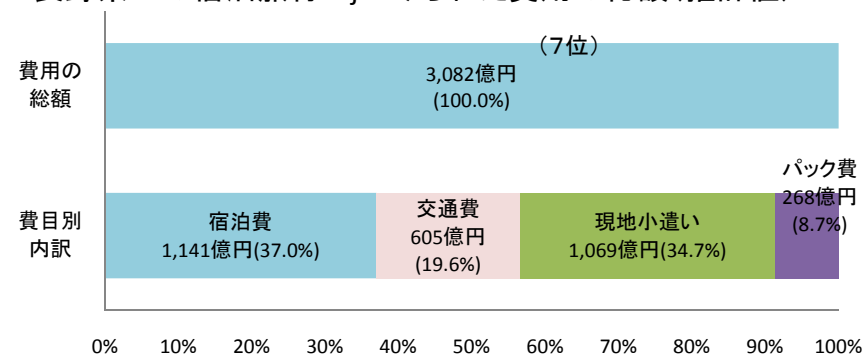
※各県への旅行件数ベース

※ただし、全体の0.5%トリム平均

総額



■長野県への宿泊旅行にかけられた費用の総額(推計値)

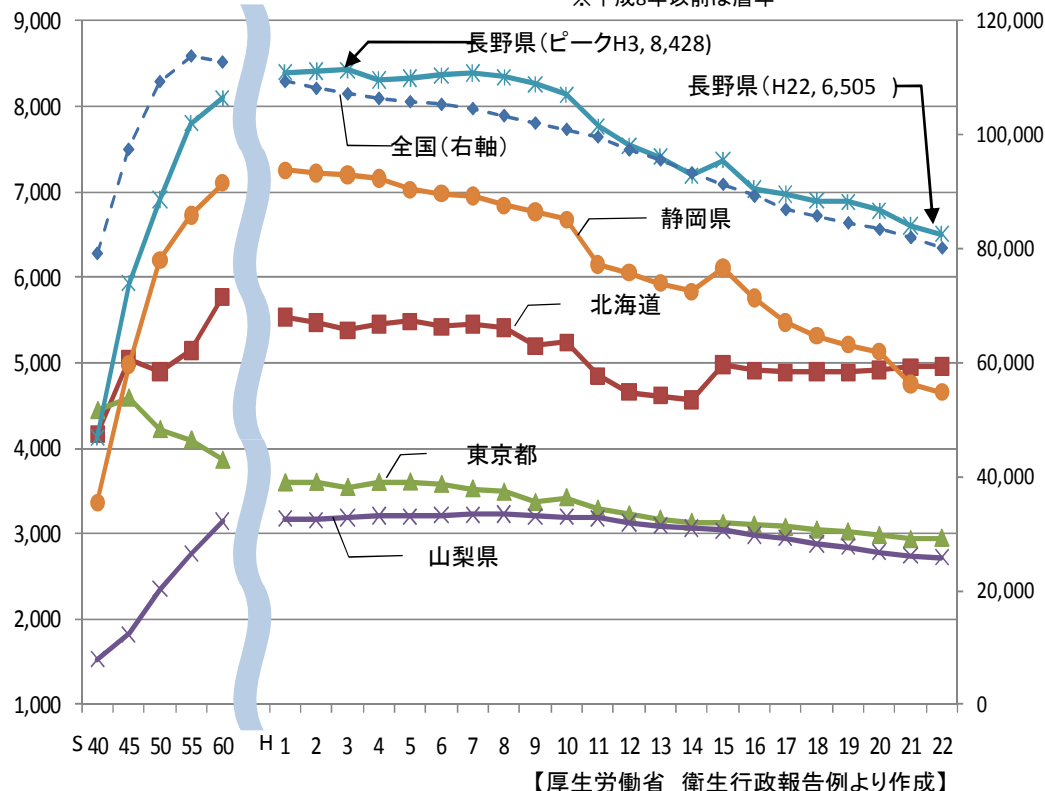


➤一人当たりの旅行費用は、じゃらん宿泊旅行調査と旅行動向2011ともに全国平均を下回っている。

全国における長野県のポジション

■宿泊施設数上位5都道県の推移

※ホテル、旅館、簡易宿所の合計(下宿除く)
※平成8年以前は暦年

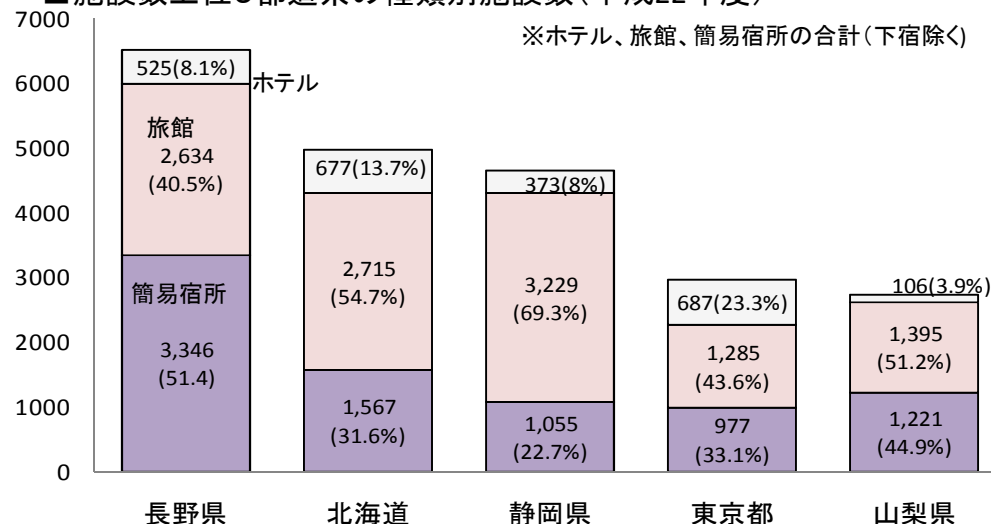


- 全国的に施設数はS60以降減少傾向となっている。
- 上位の都道府県の中では、長野県は簡易宿泊所の比率が目立って高い。これは、民宿やペンションの数が多いことを示している。
- 長野県の推移では、ホテルの施設数、割合ともに増加している。
- 一方、旅館の占める割合は減少傾向となっている。

宿泊施設数

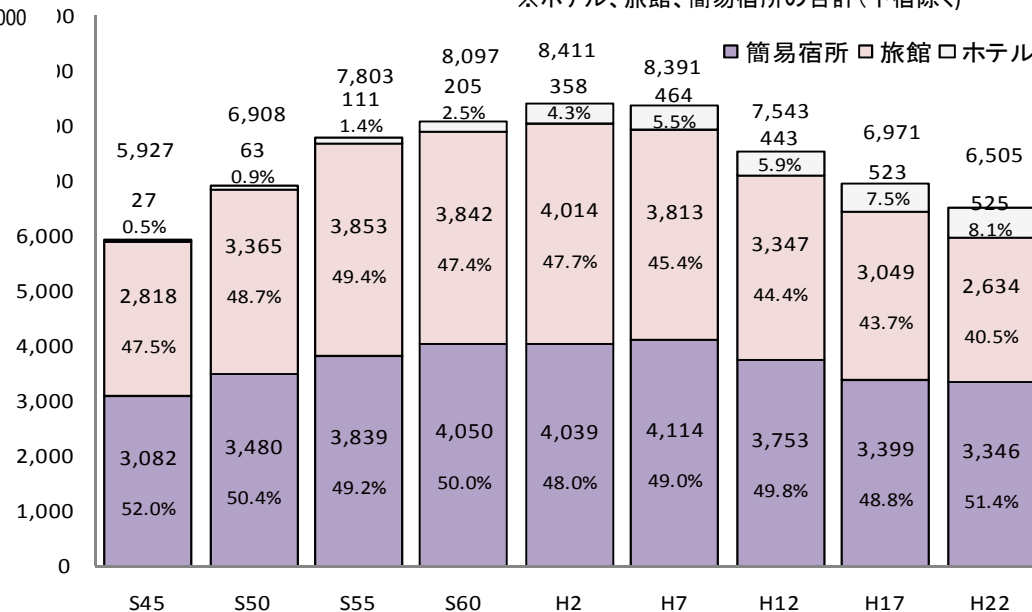
■施設数上位5都道県の種類別施設数(平成22年度)

※ホテル、旅館、簡易宿所の合計(下宿除く)



■長野県の種類別施設数推移

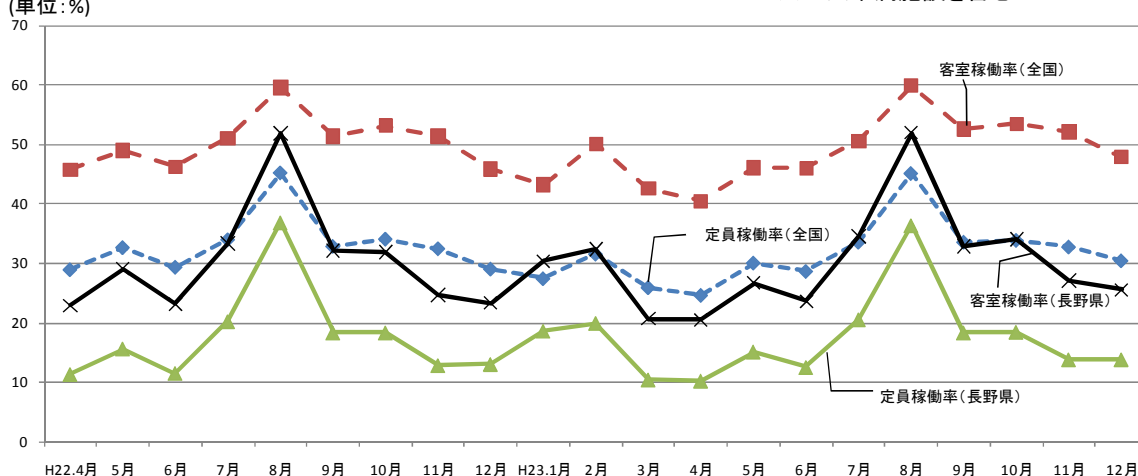
※ホテル、旅館、簡易宿所の合計(下宿除く)



【厚生労働省 衛生行政報告例より作成】

宿泊旅行統計調査(観光庁)

■定員稼働率、客室稼働率の推移(H22.4月～H23.12月) ※10人未満施設を含む
(単位: %)



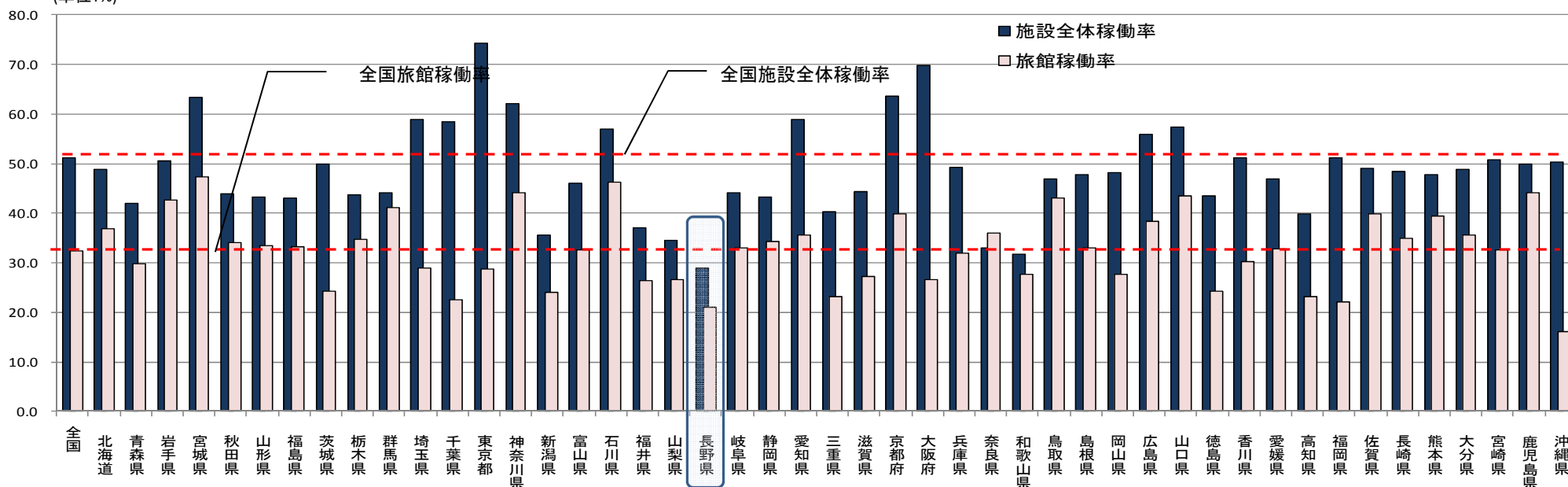
➤定員稼働率、客室稼働率の月別推移の傾向は、概ね全国の傾向と同様であるが、稼働率水準は全国平均を大きく下回っている。

➤客室稼働率の都道府県比較では、旅館は46位、施設全体は47位と最下位水準になっている。

(参考)宿泊施設の種類の割合

	旅館	リゾートホテル	ビジネスホテル	シティホテル	会社・団体の宿泊所	簡易宿所
全国	48.5%	5.7%	13.3%	1.9%	4.5%	26.1%
長野県	45.1%	8.7%	4.9%	0.2%	7.1%	33.9%

■都道府県別客室稼働率(施設種類全体と旅館・H23.10月～12月) ※10人未満施設を含む
(単位: %)



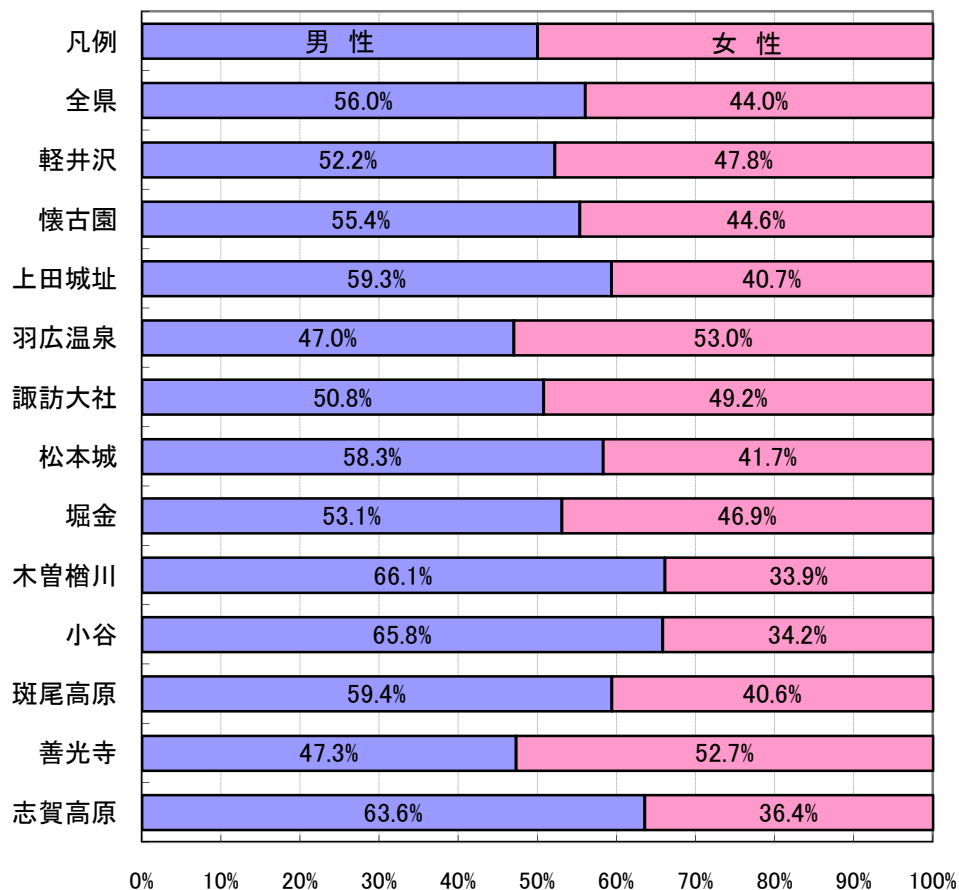
観光客の属性(性別)

観光地点パラメータ調査(長野県)

■観光客の性別

※回答者数ベース

※日帰り含む



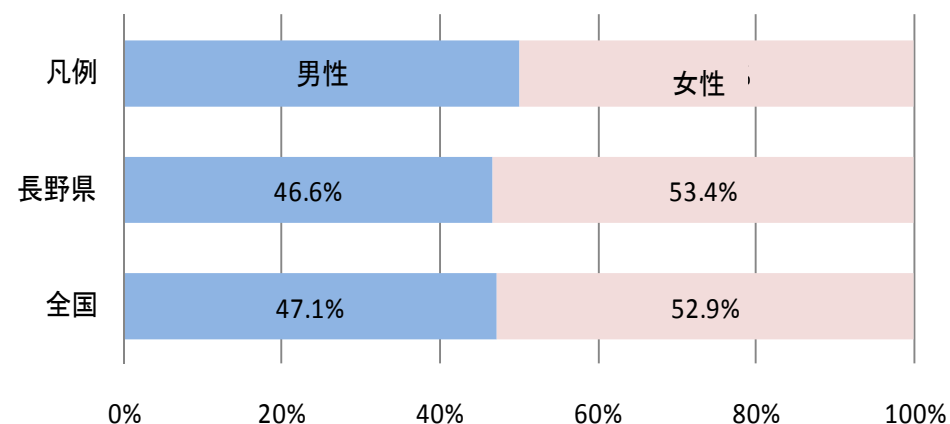
➤観光地点パラメータ調査では、実際の観光地における男女比に合った性別構成になるよう回答を集めた。

じゃらん宿泊旅行調査2011

(株)じゃらんリサーチセンター

■観光客の性別

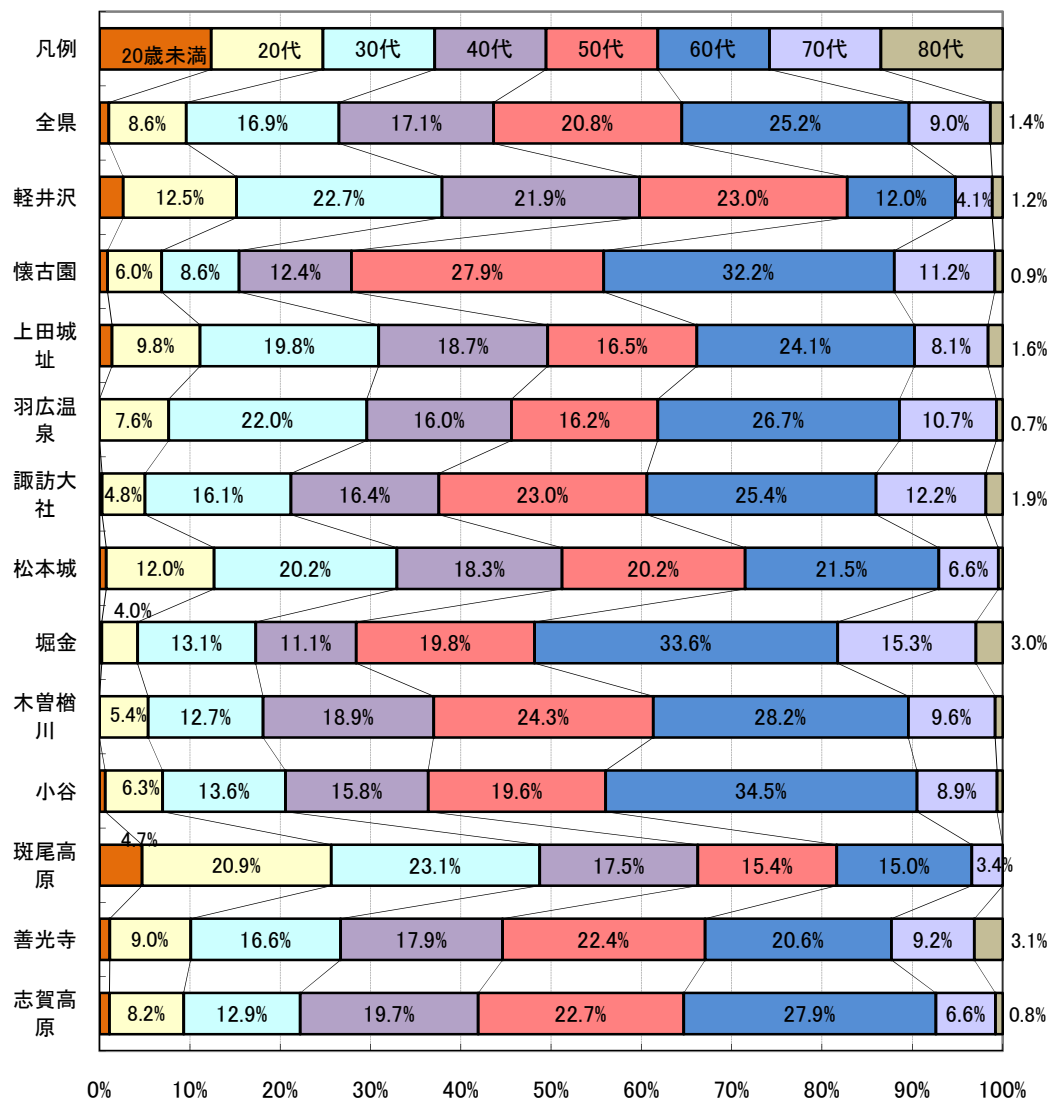
※延べ宿泊旅行者ベース



観光地点パラメータ調査（長野県）

■観光客の年代別構成

※回答者数ベース ※日帰り含む

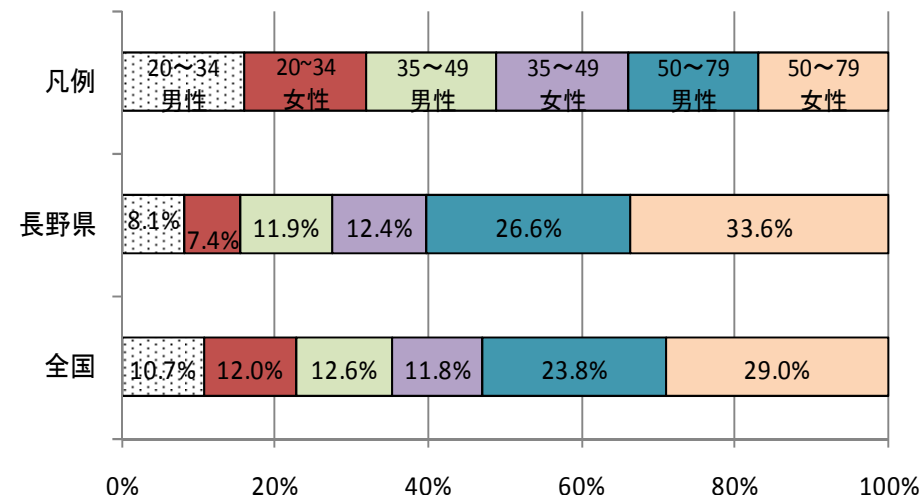


じゃらん宿泊旅行調査2011

（株）じゃらんリサーチセンター

■観光客の年代別構成

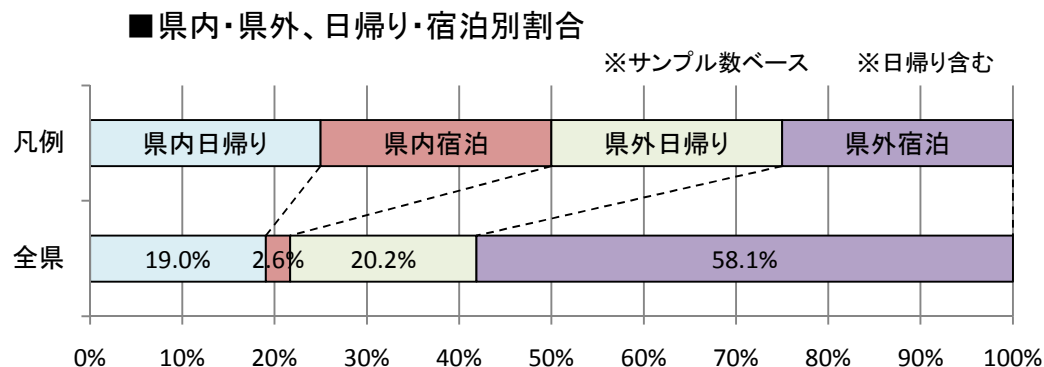
※延べ宿泊旅行者ベース



➤観光地点毎の特徴としては、60歳代以上の比率が高いのが堀金、懐古園、小谷となっている。斑尾高原は30歳代以下の比率が高い。

➤全県では、50歳代以上の割合が過半数を占めている。

観光地点パラメータ調査(長野県)



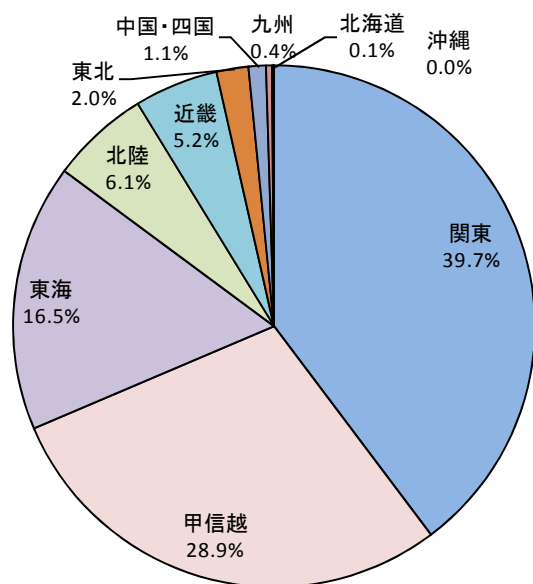
➤観光地点パラメータ調査では、約8割が県外を占めており、宿泊者は全体の6割となっている。

➤宿泊旅行者の居住地ブロックは、日帰りを含めた全体では関東エリアが約4割、宿泊旅行では関東エリアが過半数を占めている。

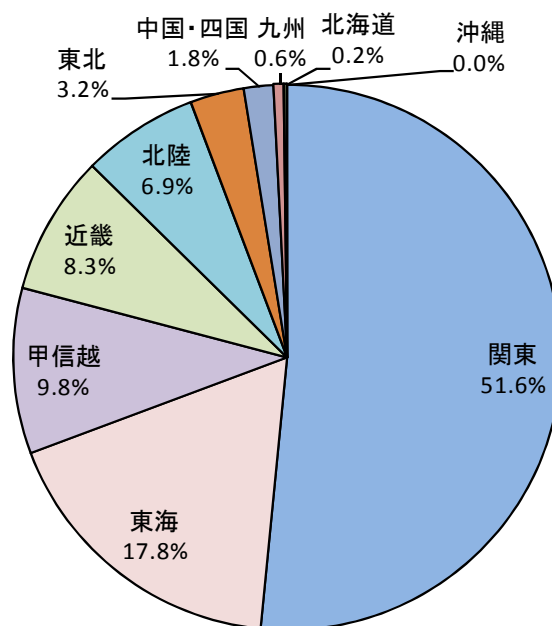
じゃらん宿泊旅行調査2011

(株)じゃらんリサーチセンター)

■旅行者の居住地ブロック (宿泊・日帰り全体)

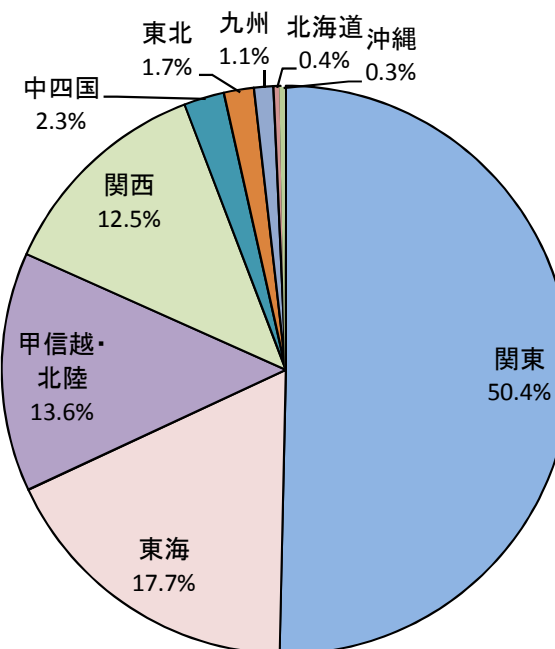


■宿泊旅行者の居住地ブロック



■宿泊旅行者の居住地ブロック

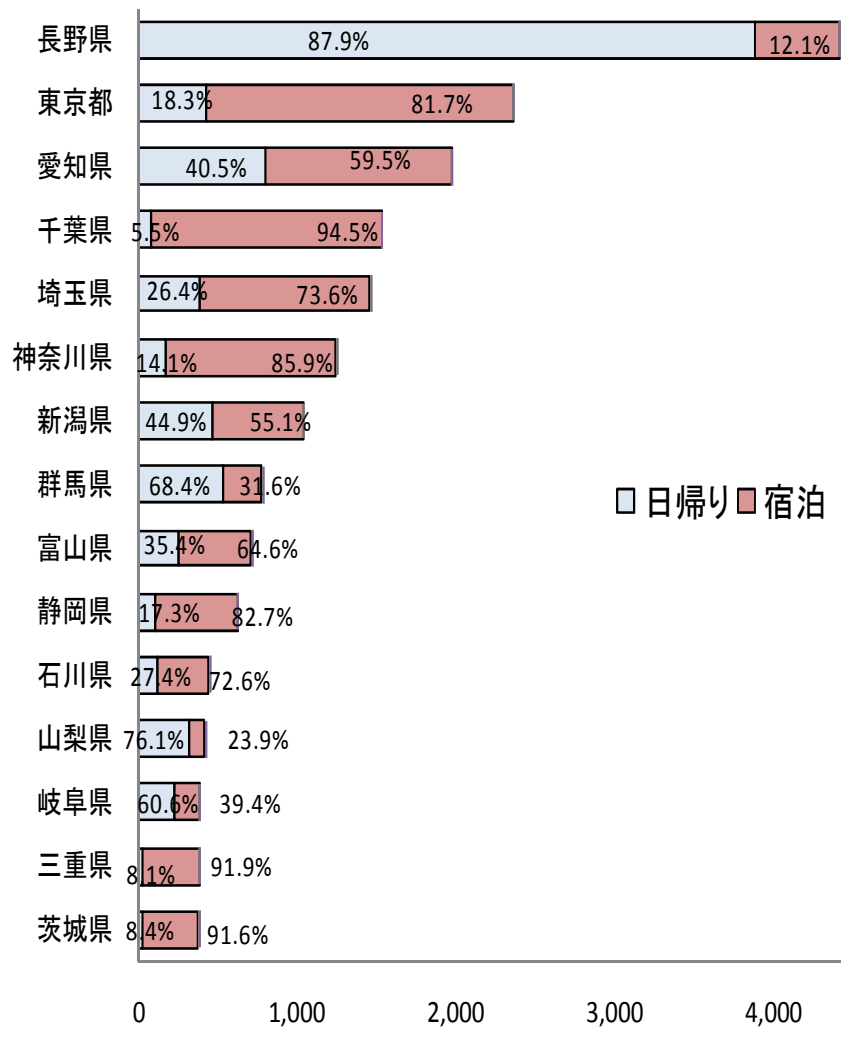
※延べ宿泊旅行者ベース



観光地点パラメータ調査(長野県)

■長野県への旅行者の居住地(上位15)

※サンプル数(同行者含む)ベース ※日帰り含む

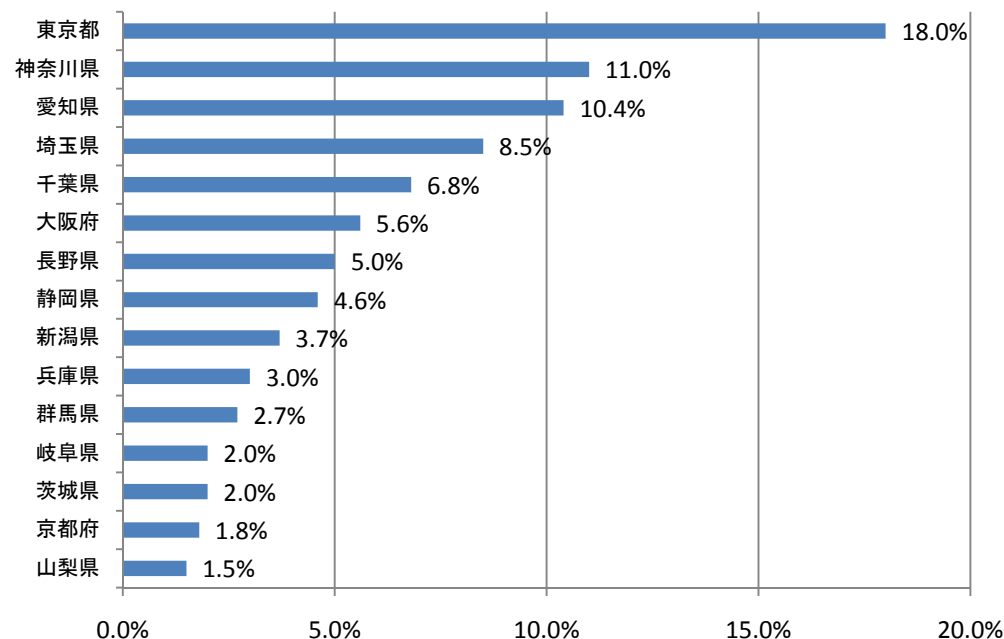


じゃらん宿泊旅行調査2011

(株)じゃらんリサーチセンター

■長野県への宿泊旅行者の居住地(上位15)

※延べ宿泊旅行者ベース

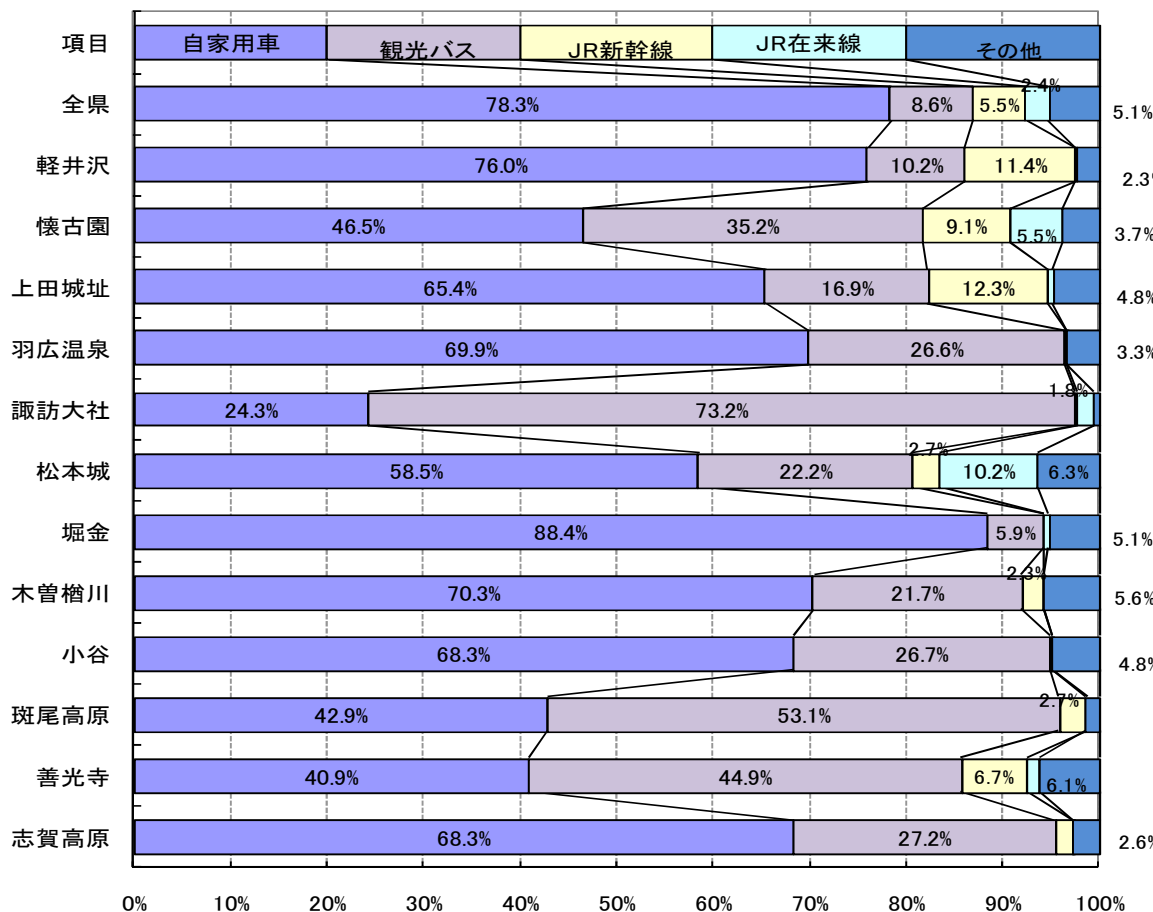


➤観光地点パラメータ調査結果において、隣接県からの旅行者は日帰り客の比率が高くなっている。

➤観光地点パラメータ調査及びじゃらん宿泊旅行調査2011ともに、宿泊旅行者のシェアが一番高いのは東京都であった。

観光地点パラメータ調査(長野県)

■観光地点までの交通手段 ※回答者数ベース ※日帰り含む



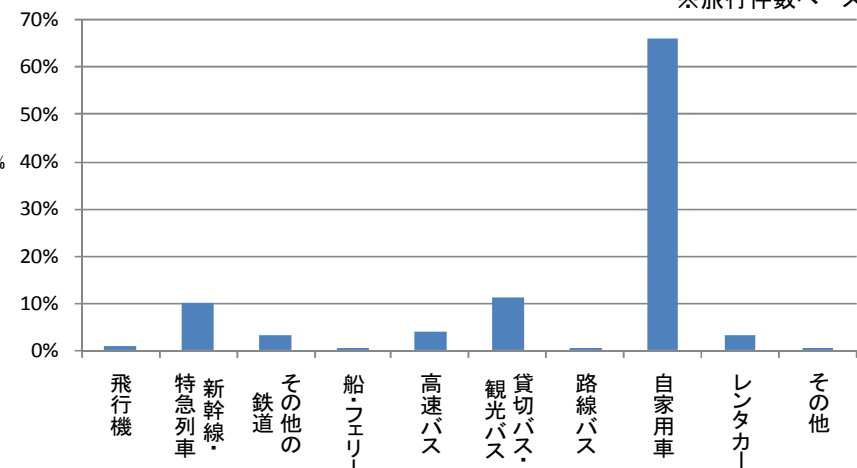
➤両調査結果とも自家用車の利用者が6割以上を占め、自家用車、バスなどのクルマ利用者は全体の8割以上を占めている。

じゃらん宿泊旅行調査2011

(株)じゃらんリサーチセンター

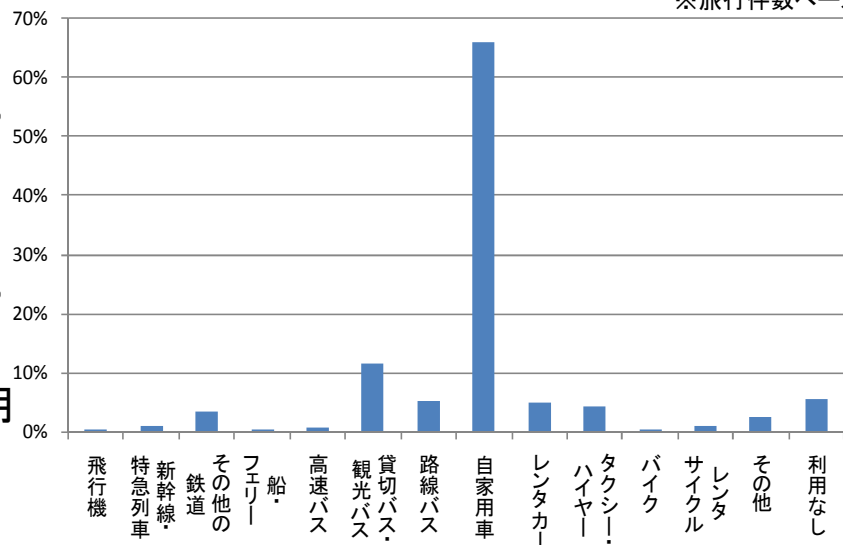
■目的地に着くまでに利用した主な交通手段(単一回答)

※旅行件数ベース



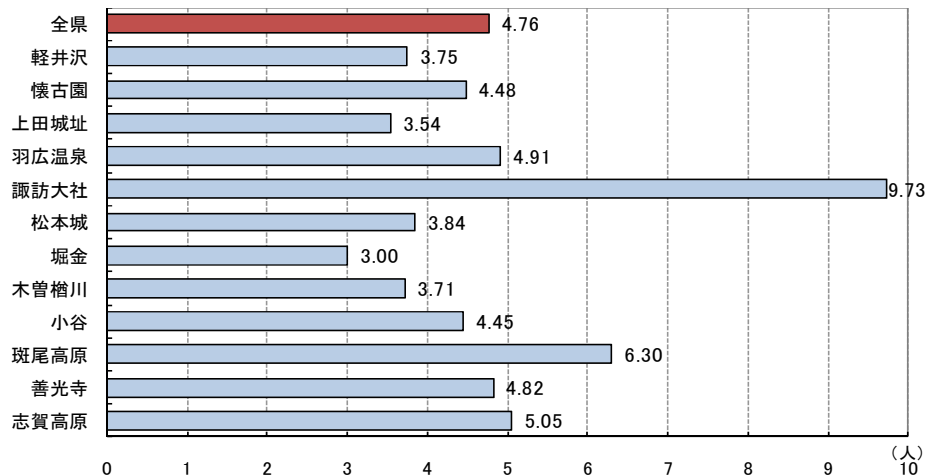
■目的地に着いてから利用した交通手段(複数回答)

※旅行件数ベース



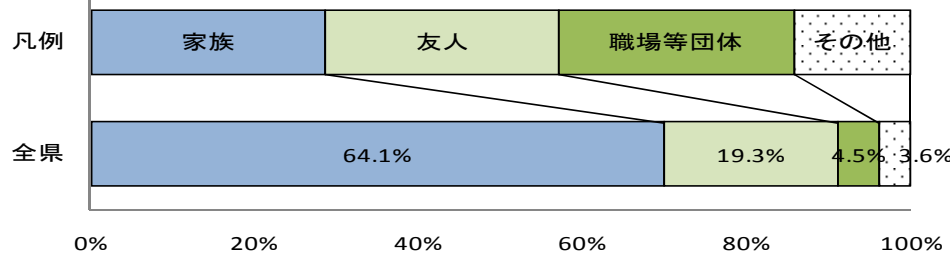
観光地点パラメータ調査(長野県)

■観光地点別平均同行者数 ※回答者数ベース ※日帰り旅行者含む



■同行者の種類

※回答者数ベース
※一人旅は含まない



➤平均同行者数は、日帰りを含む観光地点パラメータ調査では4.76人となっている。じゃらん宿泊旅行調査では5.1人と全国平均よりも多くなっている。

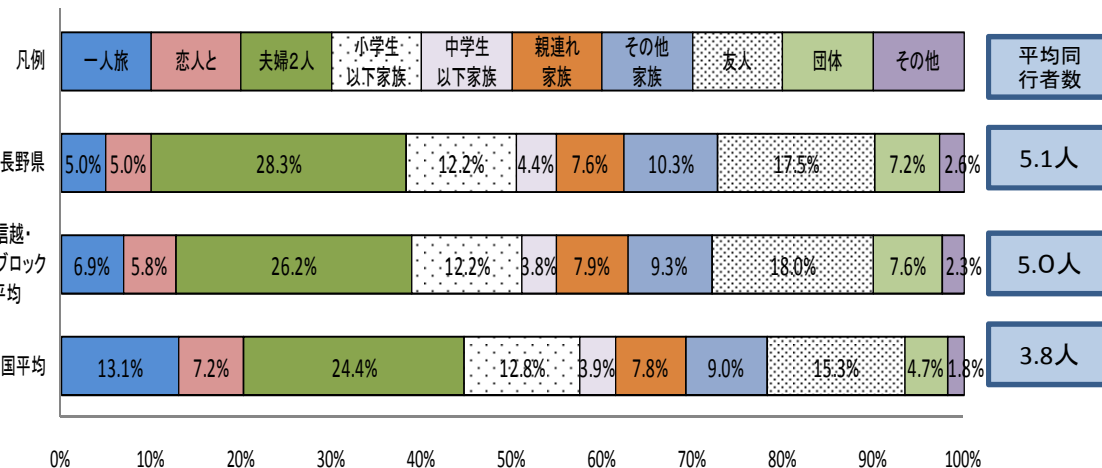
➤同行者の種類は、どの調査でも「家族」の割合が過半数を占めている。

じゃらん宿泊旅行調査2011

(株)じゃらんリサーチセンター

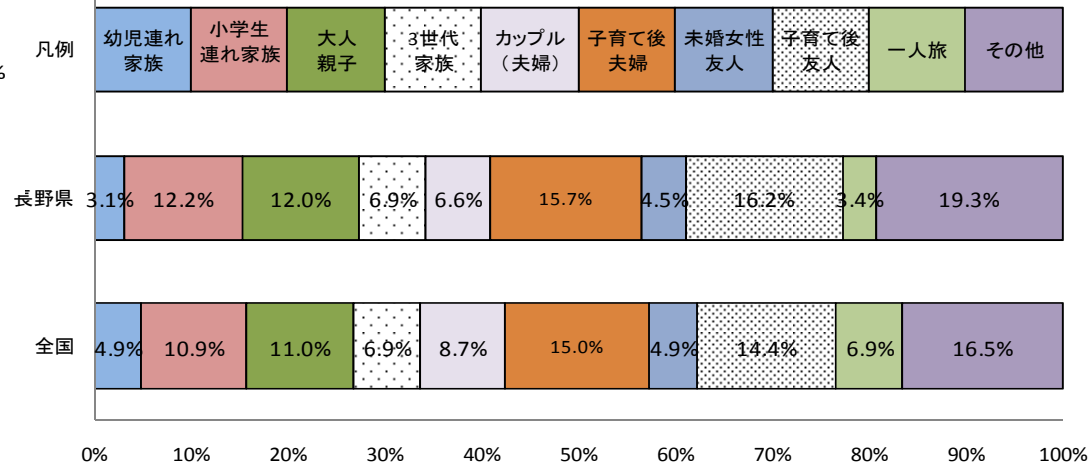
■同行者の種類(単一回答)

※旅行件数ベース



旅行者動向2011((財)日本交通公社)

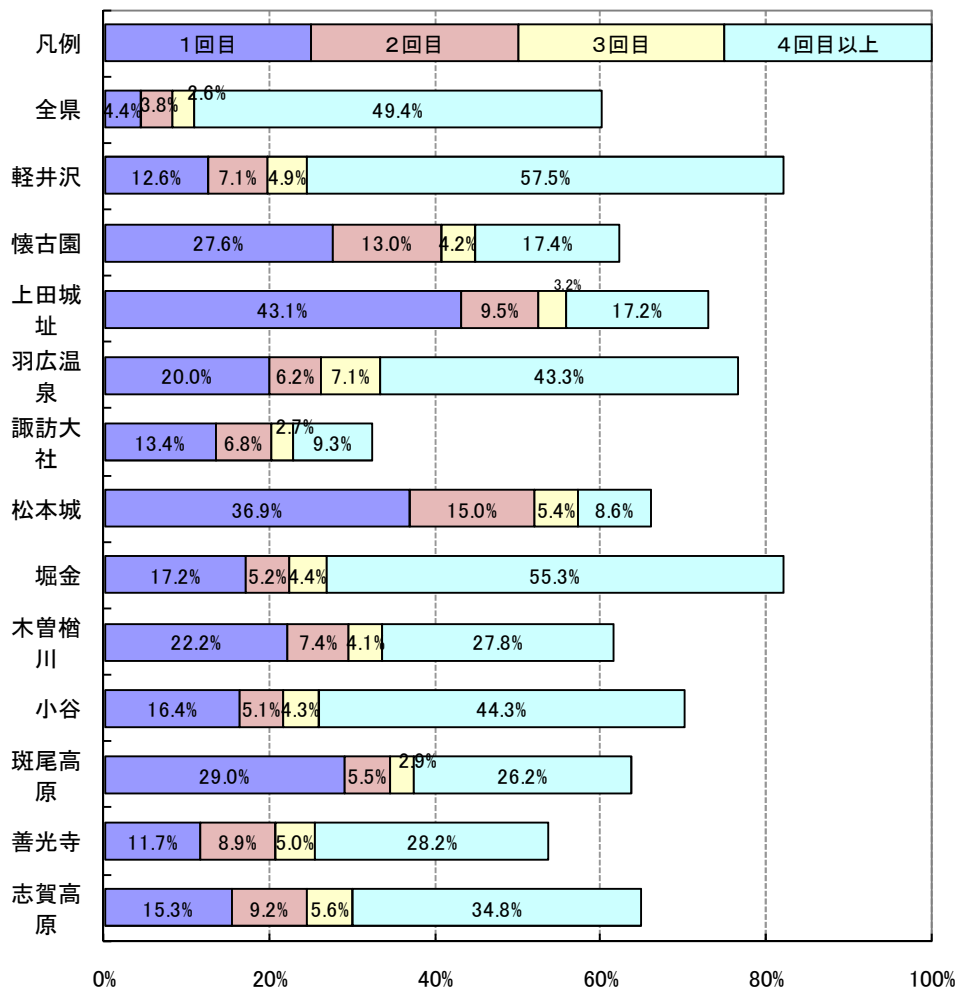
■同行者の種類



観光地点パラメータ調査(長野県)

■観光地点への来訪回数

※同行者全員の訪問回数がかかる場合の人数の、サンプル数に対する割合
 ※「全県」については、長野県への来訪回数
 ※日帰り旅行者含む

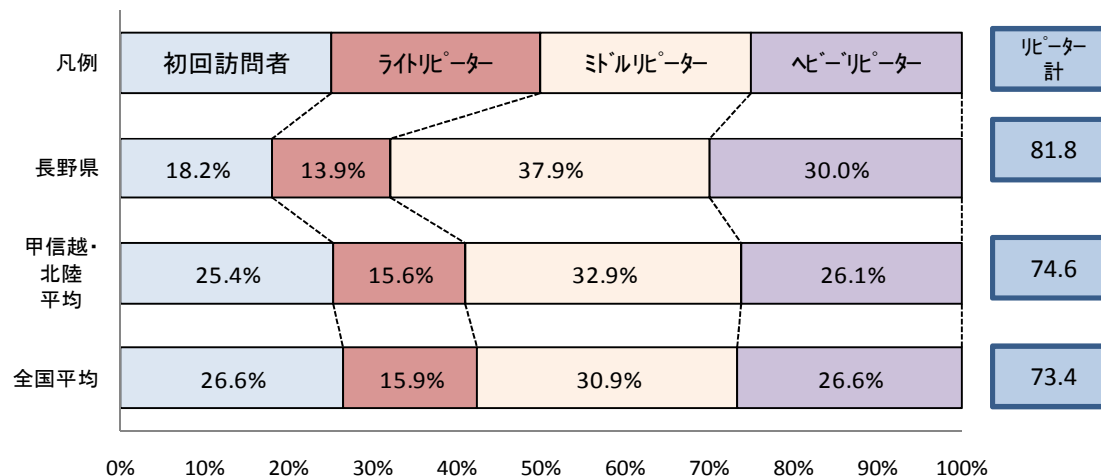


じゃらん宿泊旅行調査2011

(株)じゃらんリサーチセンター

■来訪経験(単一回答)

※旅行件数ベース



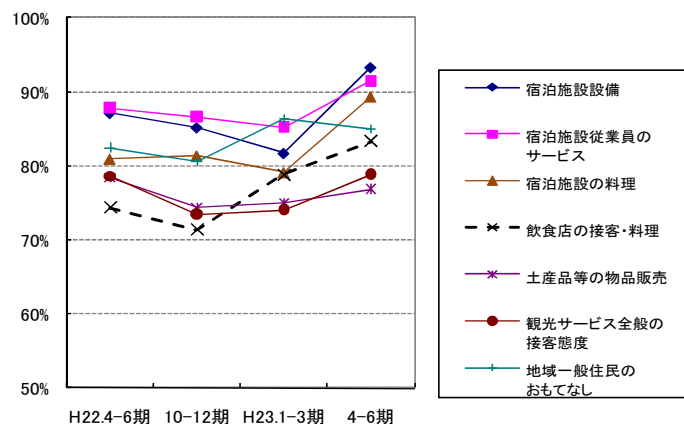
- 初回訪問者・・・初めて来た人
- ライトリピーター・・・最近1年以内に1回来訪、その前は3年以上前に来訪
- ミドルリピーター・・・最近1年以内に1回、3年以内に2回以上来訪
- ヘビーリピーター・・・最近1年以内に2回以上来訪

➤ 観光地点別では、軽井沢、堀金で4回以上の来訪者が多い。

➤ じゃらん宿泊旅行調査では、ミドルリピーター、ヘビーリピーターの割合が全国平均及び甲信越・北陸平均を上回っており、本県へのリピーター率は高水準であるといえる。

観光地点パラメータ調査(長野県)

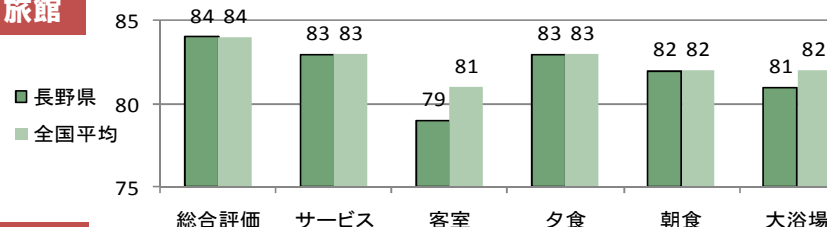
■長野県の観光サービス満足者の割合



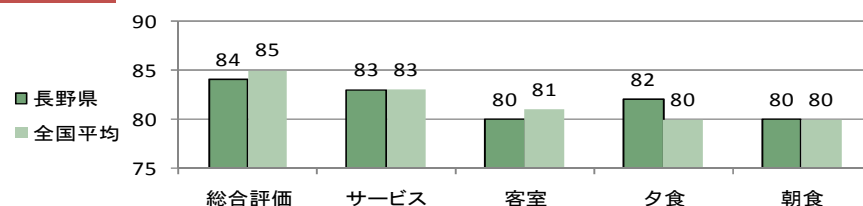
JTB宿泊統計年報2011 (株ツーリズム・マーケティング研究所)

■宿泊施設の評価点(JTB宿泊アンケート)

旅館



ホテル



じゃらん宿泊旅行調査2011

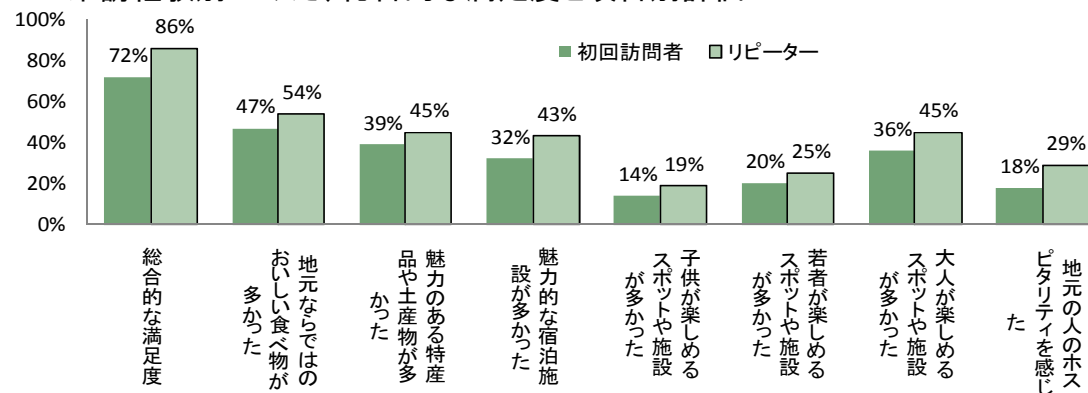
(株)じゃらんリサーチセンター)

■総合的な満足度と項目別評価(単一回答)

※旅行件数ベース

	長野県	順位	全国平均
総合的な満足度	84%	22位	83%
地元ならではのおいしい食べ物が多かった	52%	38位	57%
魅力のある特産品や土産物が多かった	44%	31位	45%
魅力的な宿泊施設が多かった	41%	19位	41%
子供が楽しめるスポットや施設が多かった	18%	24位	22%
若者が楽しめるスポットや施設が多かった	24%	14位	27%
大人が楽しめるスポットや施設が多かった	43%	13位	42%
地元の人のホスピタリティを感じた	27%	23位	27%

■来訪経験別にみた、総合的な満足度と項目別評価



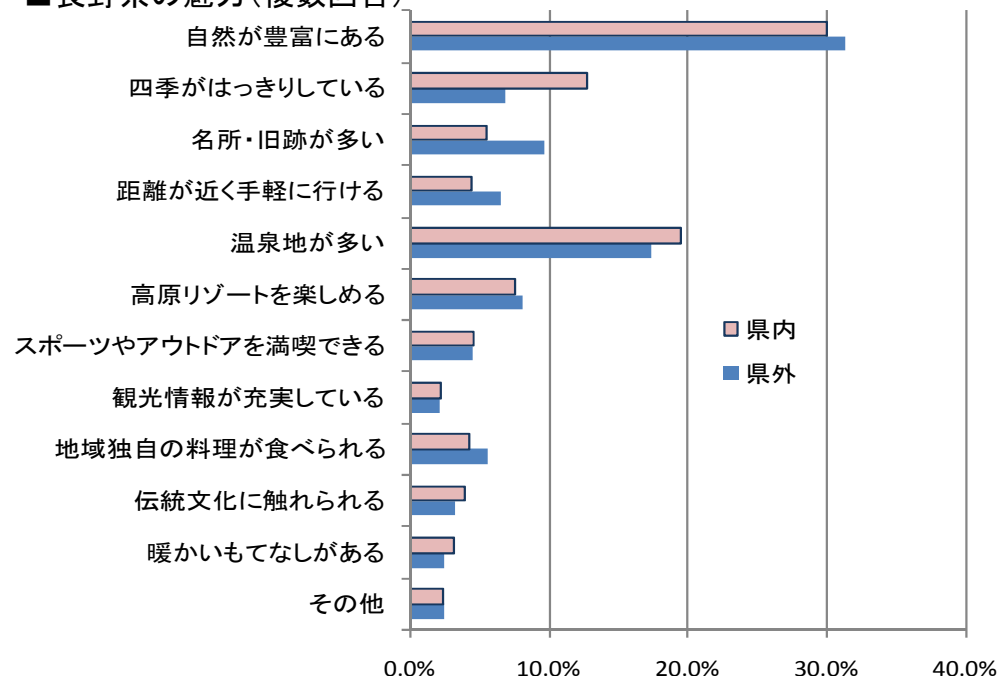
➤観光地点パラメータ調査による聞き取り調査では、宿泊施設関連の満足度が比較的高くなっている。

➤民間調査による満足度はほぼ全国平均並みとなっている。

➤じゃらん宿泊旅行調査では、初回訪問者よりリピーターのほうが評価が高くなっている。

観光地点パラメータ調査(長野県) ※平成23年4-6月調査、n=1397

■長野県の魅力(複数回答)



➤観光地点パラメータ調査では、県内・県外ともに「自然が豊富」「温泉地が多い」の項目が多く、県外者は次いで「名所・旧跡が多い」となっている。

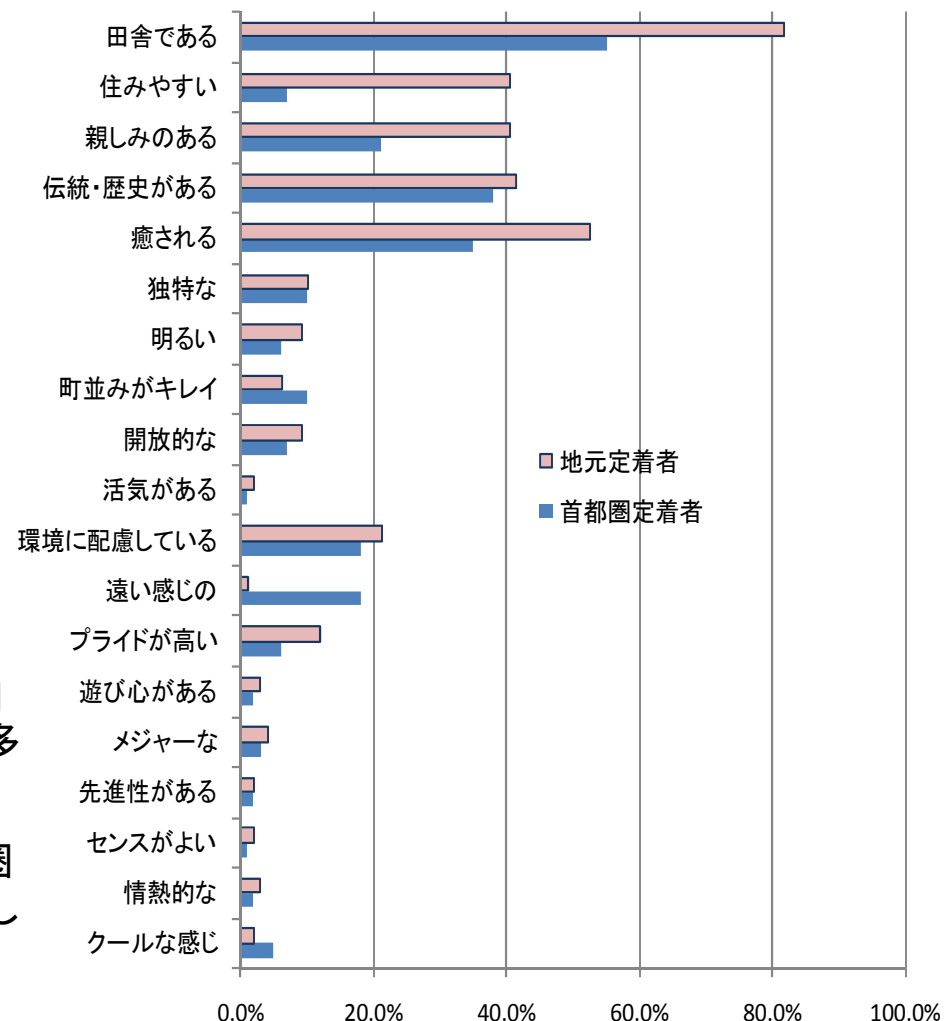
➤じゃらんご当地調査では、「田舎である」が地元定着者・首都圏定着者ともトップとなっており、以下「伝統・歴史」「癒される」「親しみのある」「住みやすい」が上位を占めている。

➤両調査から、県内者と県外者では長野県に対するイメージにギャップがあることがうかがえる。

じゃらんご当地調査2010

(株)じゃらんリサーチセンター

■長野県のイメージ(抜粋)

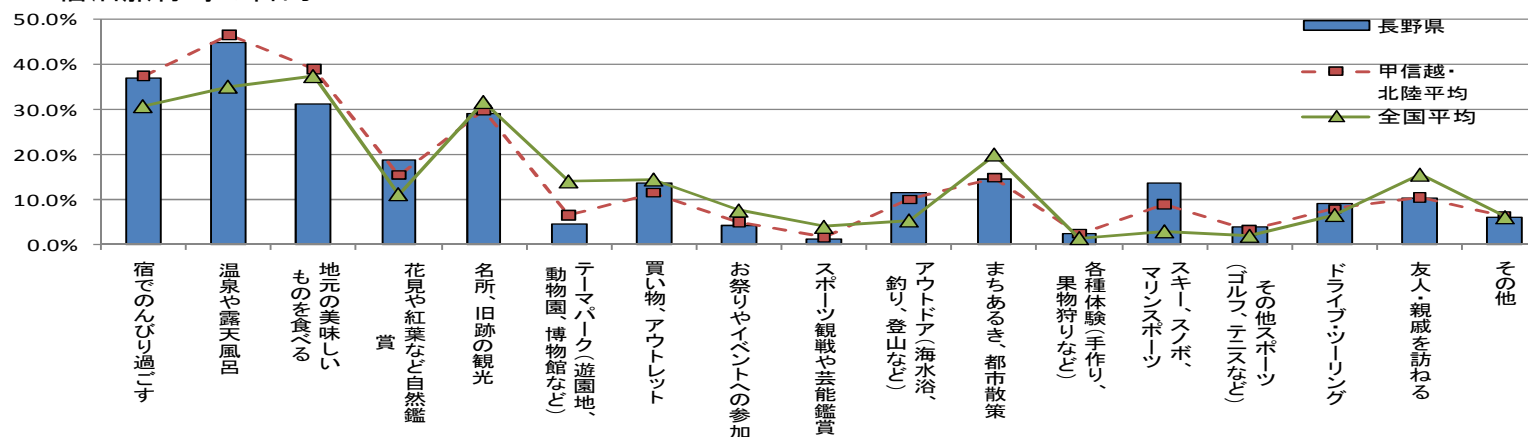


じゃらん宿泊旅行調査2011

(株)じゃらんリサーチセンター

■宿泊旅行時の目的

※旅行件数ベース

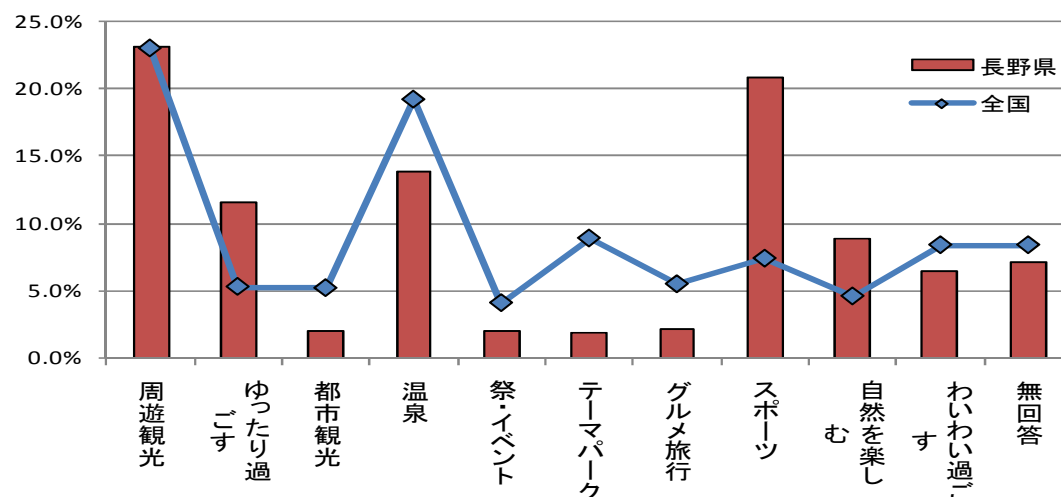


➤二つの調査からわかることは、温泉は高い割合であるが、全国平均との比較では必ずしも優位な数値ではない。

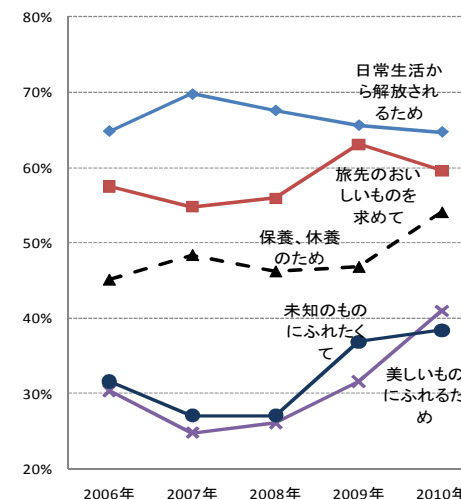
➤スキーなどスポーツ、アウトドアは全国平均よりも優位性がある。

旅行者動向2011 ((財)日本交通公社)

■旅行タイプシェア



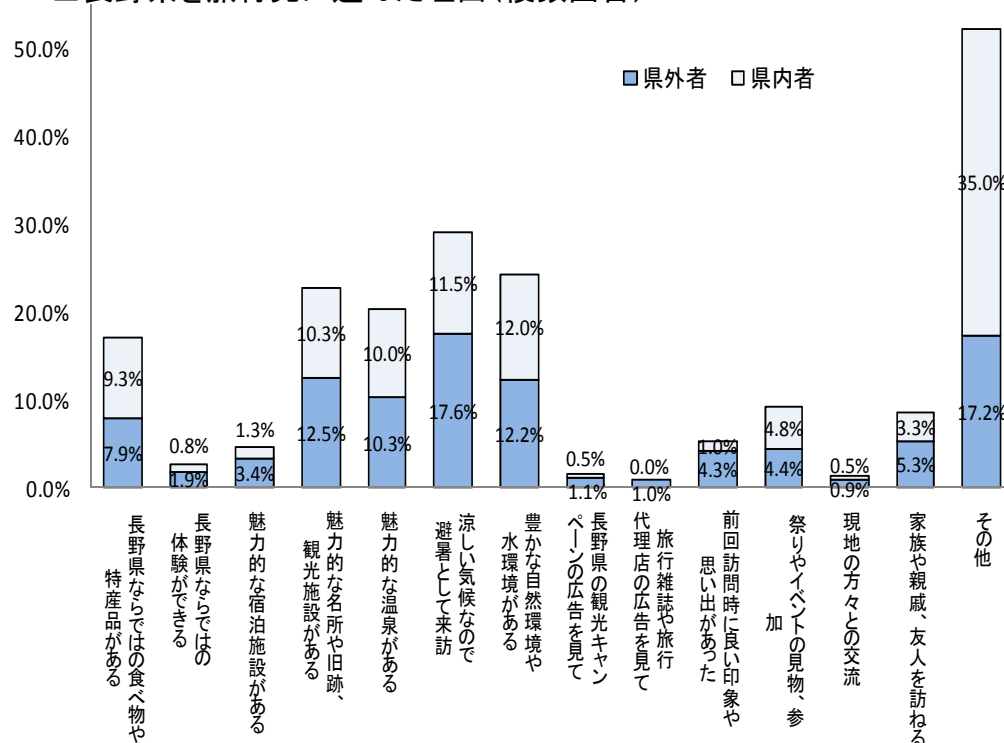
(参考)旅行の動機上位5位の推移



➤一方、旅の楽しみの一つと言われている「食」については全国平均を下回っている。

観光地点パラメータ調査(長野県) ※平成23年7-9月調査、n=1175

■長野県を旅行先に選んだ理由(複数回答)



➤パラメータ調査では、県内者、県外者ともに「避暑」「自然環境」「温泉」が上位になっている。

➤じゃらの調査における全国平均との比較では、「温泉」や「なじみがある」の項目が高くなっている。

➤来訪経験別に見ると、どの項目もリピーターの方が高く、リピーターについては「魅力的なスポット」「温泉」「宿・ホテル」「なじみ」「知人のすすめ」について全国平均を上回っている。

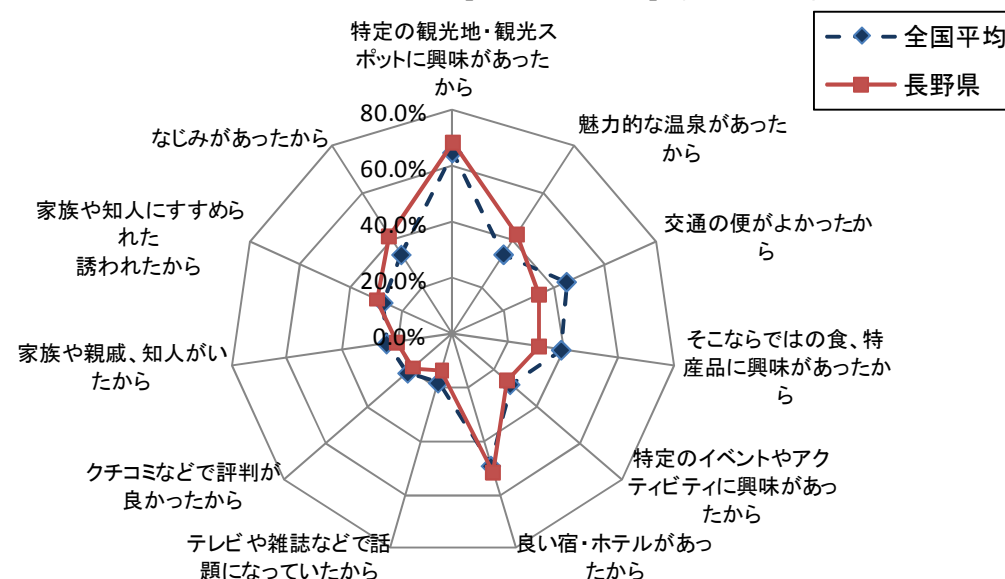
じゃらん宿泊旅行調査2011

(株)じゃらんリサーチセンター)

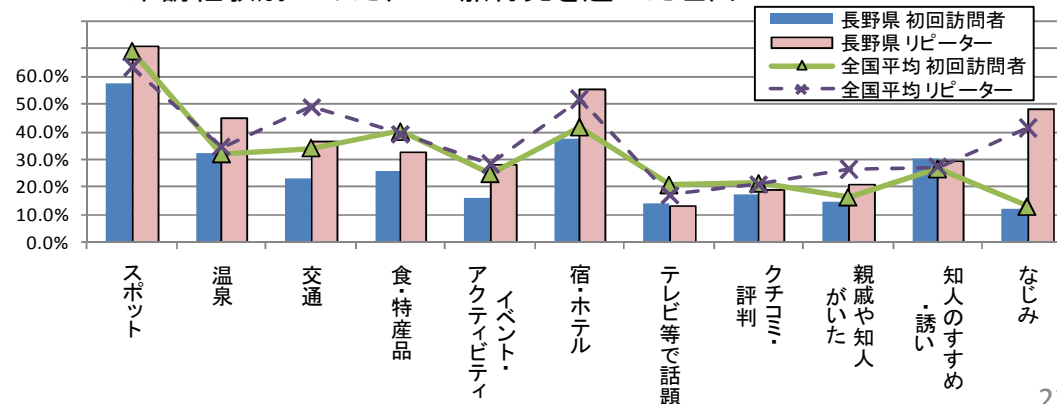
■長野県を旅行先に選んだ理由(単一回答)

※旅行件数ベース

※「当てはまる」「やや当てはまる」と答えた人の割合



■来訪経験別に見た、この旅行先を選んだ理由



じゃらん宿泊旅行調査2011

(株)じゃらんリサーチセンター

■回答者全体の来訪意向 (複数回答)

※宿泊旅行実施者ベース

※今後1年くらいに行ってみたい都道府県

順位	都道府県	来訪意向率 (%)
1	北海道	33.8
2	沖縄県	31.7
3	京都府	17.3
4	東京都	9.6
5	鹿児島県	8.1
6	長野県	6.8
7	大阪府	5.9
8	長崎県	5.4
9	福岡県	5.1
10	神奈川県	4.5
11	石川県	4.3
12	静岡県	4.2
13	千葉県	4.1
14	奈良県	4.0
14	熊本県	4.0

■宿泊旅行者の再来訪意向

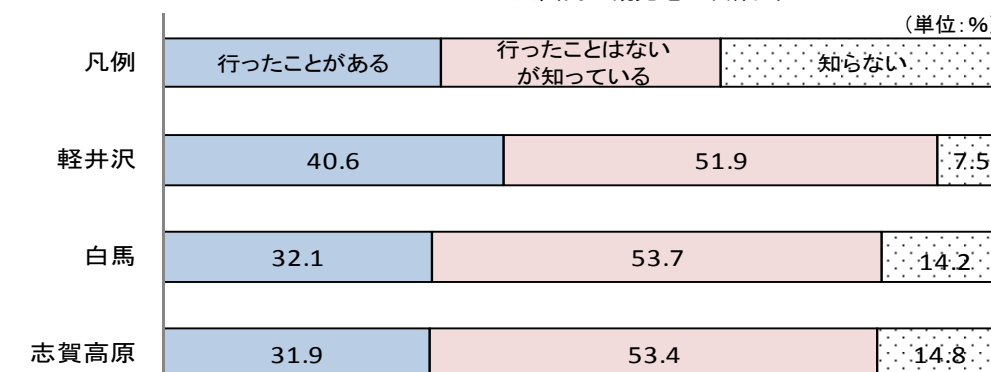
※各県への宿泊旅行者ベース

順位	都道府県	再来訪 意向率 (%)
1	北海道	43.2
2	沖縄県	42.1
3	京都府	24.1
4	東京都	23.8
5	千葉県	19.9
6	長野県	19.2
7	大阪府	15.3
8	神奈川県	15.2
9	鹿児島県	14.7
10	福岡県	14.1
11	新潟県	13.7
12	岩手県	13.3
12	静岡県	13.3
14	奈良県	13.2
15	宮城県	12.9
15	山形県	12.9

旅行者動向2011 ((財)日本交通公社)

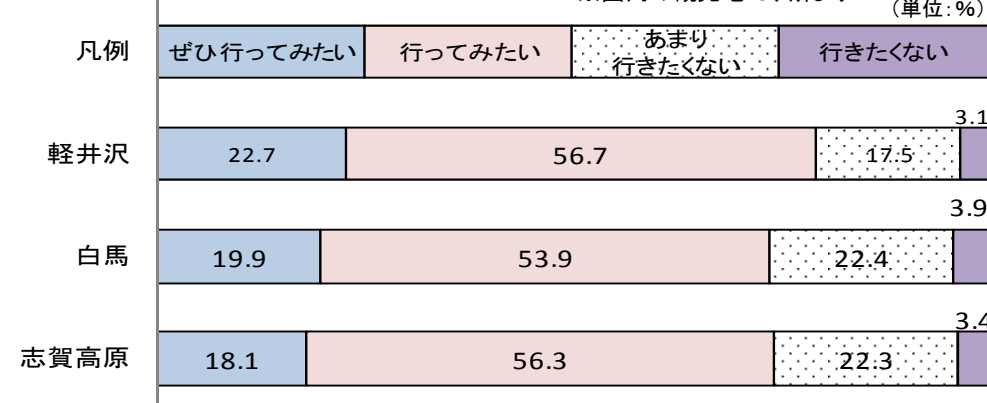
■来訪経験

※国内の観光地45ヶ所より



■来訪意向

※国内の観光地45ヶ所より



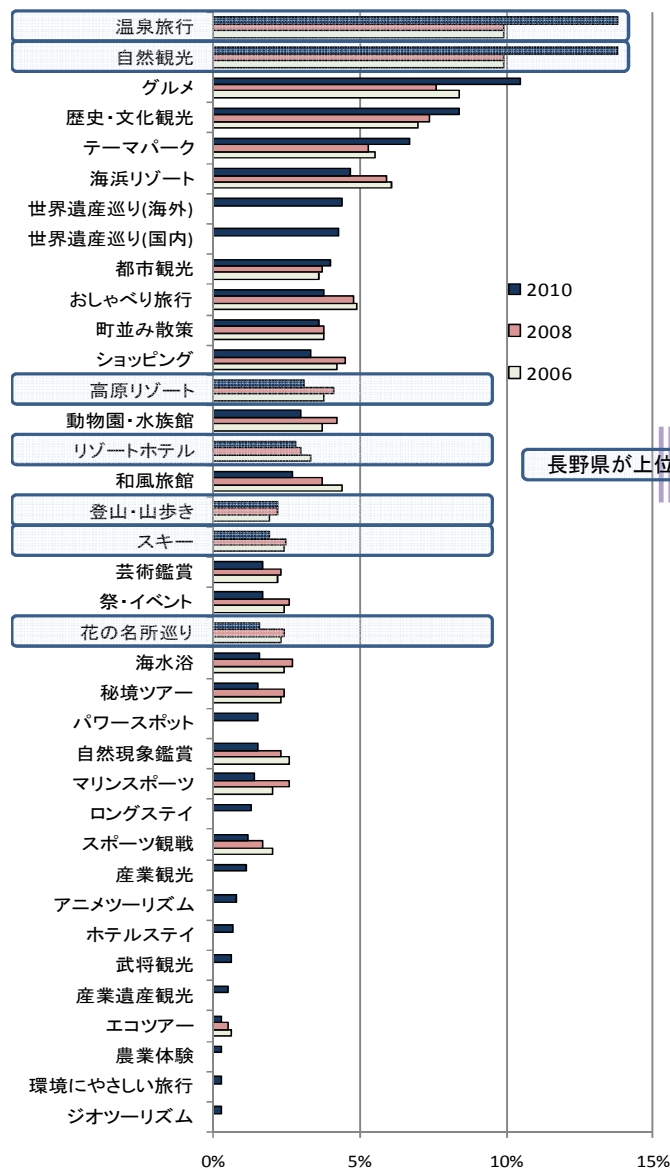
➤じゃらん宿泊旅行調査によると、来訪意向・再来訪意向ともに全国6位となっており、上位に位置しているが、1位、2位の北海道・沖縄県に比べると意向率に大きな開きがある。

➤旅行動向2011では、軽井沢、白馬、志賀高原ともに認知度(行ったことはないが知っている)は50%以上、来訪意向率も7割を超えている。

旅行タイプと旅行先①

旅行者動向2011(財)日本交通公社

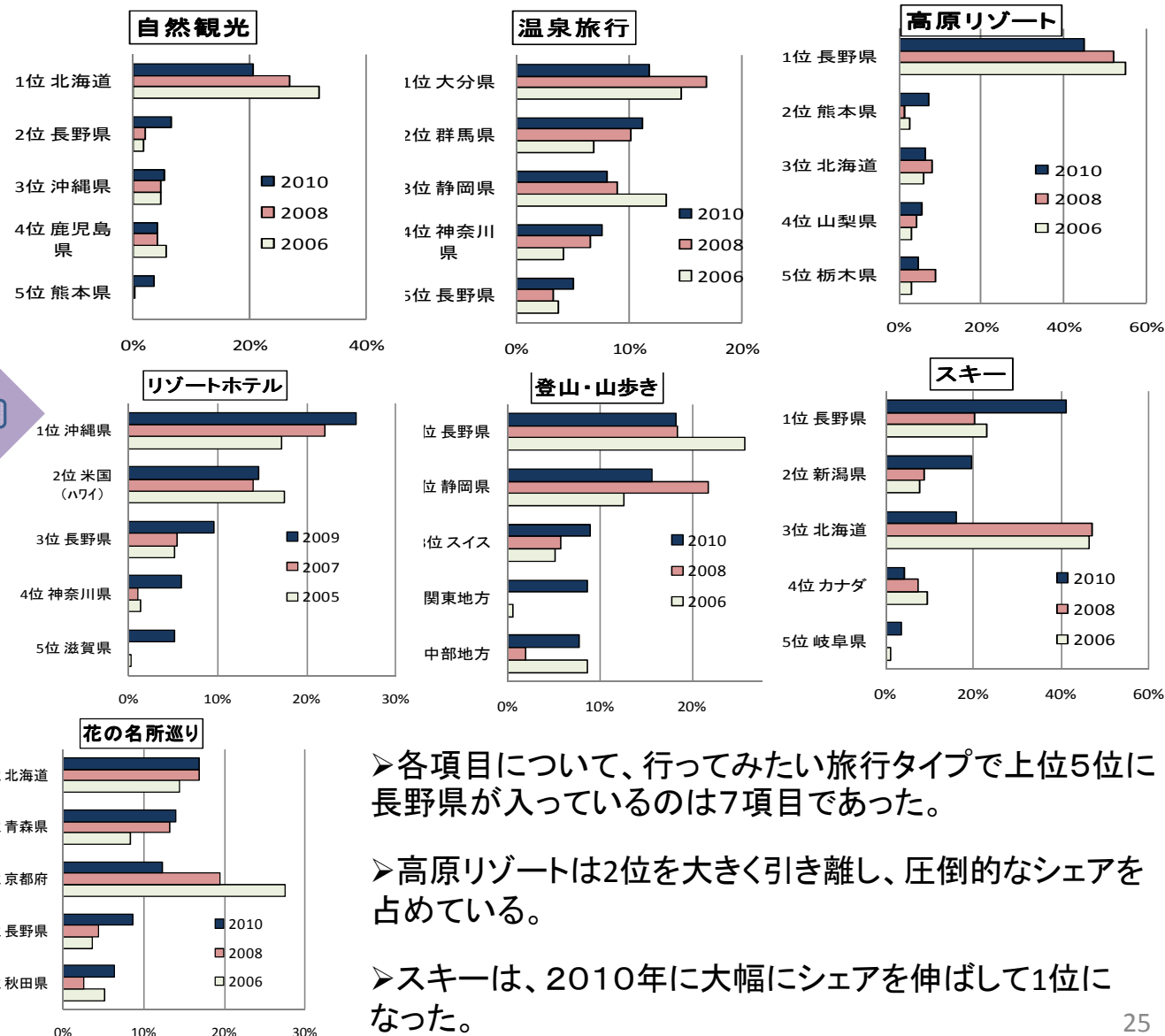
■行ってみたい旅行タイプ(複数回答)



長野県が上位の項目

■旅行タイプ別の行ってみたい旅行先で長野県が上位の項目

※国内・海外問わず自由回答



➤各項目について、行ってみたい旅行タイプで上位5位に長野県が入っているのは7項目であった。

➤高原リゾートは2位を大きく引き離し、圧倒的なシェアを占めている。

➤スキーは、2010年に大幅にシェアを伸ばして1位になった。

旅行タイプと旅行先②

旅行者動向2011 ((財)日本交通公社)

■年代別の行ってみたい旅行タイプ

※長野県が上位の旅行タイプは色つきで表示

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
20代男性	自然観光	グルメ	温泉旅行	世界遺産巡り	歴史・文化観光	テーマパーク	都市観光	スキー	町並み散策	海浜リゾート
20代女性	グルメ	テーマパーク	温泉旅行	自然観光	世界遺産巡り	歴史・文化観光	海浜リゾート	ショッピング	おしゃべり旅行	動物園・水族館
30代男性	温泉旅行	自然観光	グルメ	テーマパーク	歴史・文化観光	海浜リゾート	世界遺産巡り	都市観光	おしゃべり旅行	動物園・水族館
30代女性	温泉旅行	自然観光	グルメ	テーマパーク	世界遺産巡り	歴史・文化観光	海浜リゾート	ショッピング	都市観光	パワースポット
40代男性	温泉旅行	グルメ	自然観光	テーマパーク	世界遺産巡り	リゾートホテル	海浜リゾート	歴史・文化観光	動物園・水族館	都市観光
40代女性	グルメ	温泉旅行	テーマパーク	自然観光	歴史・文化観光	ショッピング	おしゃべり旅行	海浜リゾート	都市観光	世界遺産巡り
50代男性	温泉旅行	自然観光	世界遺産巡り	テーマパーク	グルメ	歴史・文化観光	高原リゾート	海浜リゾート	スキー	登山・山歩き
50代女性	温泉旅行	自然観光	歴史・文化観光	グルメ	世界遺産巡り	町並み散策	ショッピング	テーマパーク	都市観光	海浜リゾート
60代男性	温泉旅行	自然観光	世界遺産巡り	グルメ	歴史・文化観光	高原リゾート	おしゃべり旅行	和風旅館	海浜リゾート	町並み散策
60代女性	自然観光	温泉旅行	世界遺産巡り	グルメ	歴史・文化観光	テーマパーク	おしゃべり旅行	海浜リゾート	町並み散策	都市観光
70代男性	温泉旅行	自然観光	世界遺産巡り	歴史・文化観光	グルメ	高原リゾート	都市観光	和風旅館	町並み散策	海浜リゾート
70代女性	自然観光	温泉旅行	歴史・文化観光	グルメ	町並み散策	世界遺産巡り	和風旅館	海浜リゾート	自然現象鑑賞	高原リゾート

長野県が上位の旅行タイプが多い年代

➤全ての年代で「自然観光」「温泉旅行」が10位以内に入っており、30代と50代以上では1位、2位を占めている。

➤50代以上の年代で、長野県が上位の旅行タイプが多くなっている。

➤特に50代男性では、「温泉旅行」「自然観光」に加え、「高原リゾート」「スキー」「登山・山歩き」がランクインしており、山岳観光地への来訪意向がみられる。

➤20代男性に「スキー」が入っている。

➤旅行先総合ランキングでは、長野県は8位となっている。

■行ってみたい旅行先総合ランキング(国内)

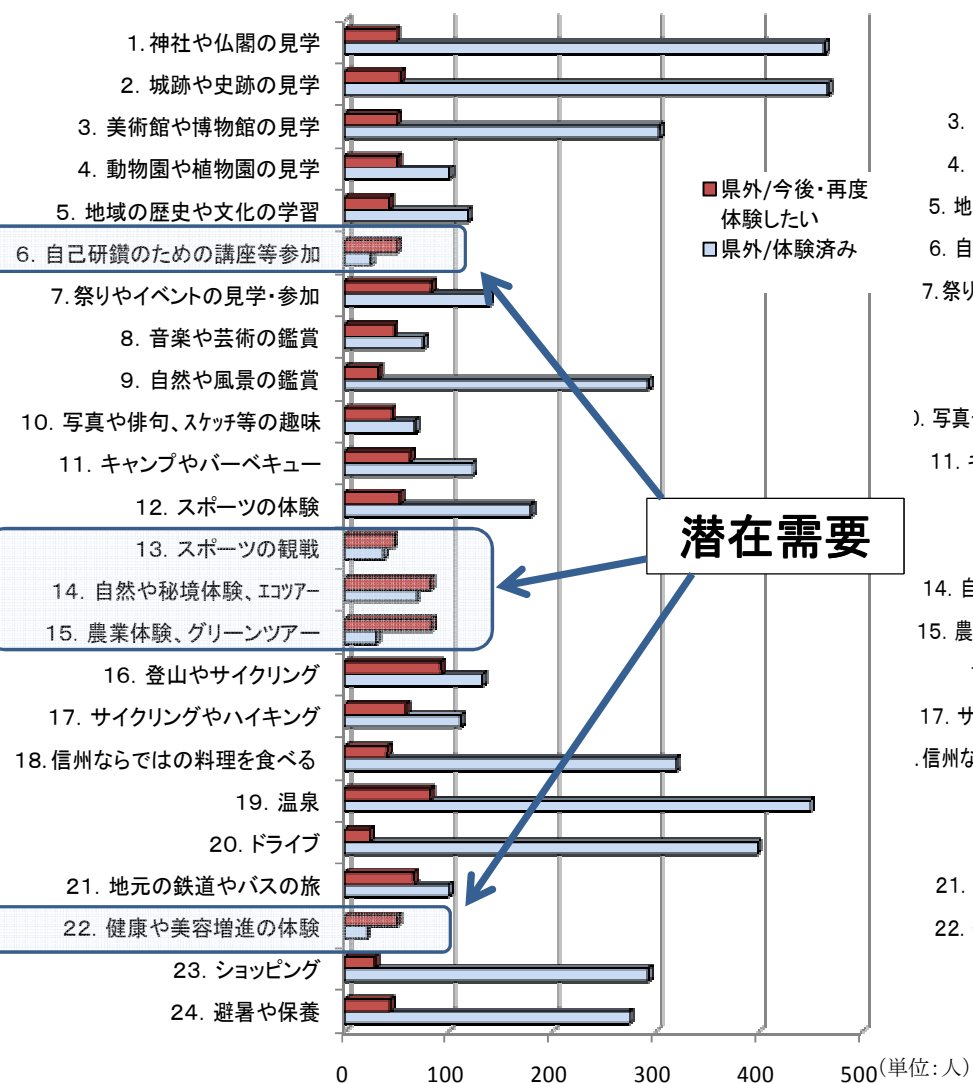
※2010年順位

順位	地域名	構成比(%)
1位	北海道	20.49
2位	沖縄県	15.15
3位	東京都	6.05
4位	鹿児島県	5.40
5位	京都府	5.21
6位	九州地方	2.68
7位	千葉県	2.38
8位	長野県	2.20
9位	四国地方	2.13
10位	東北地方	2.00

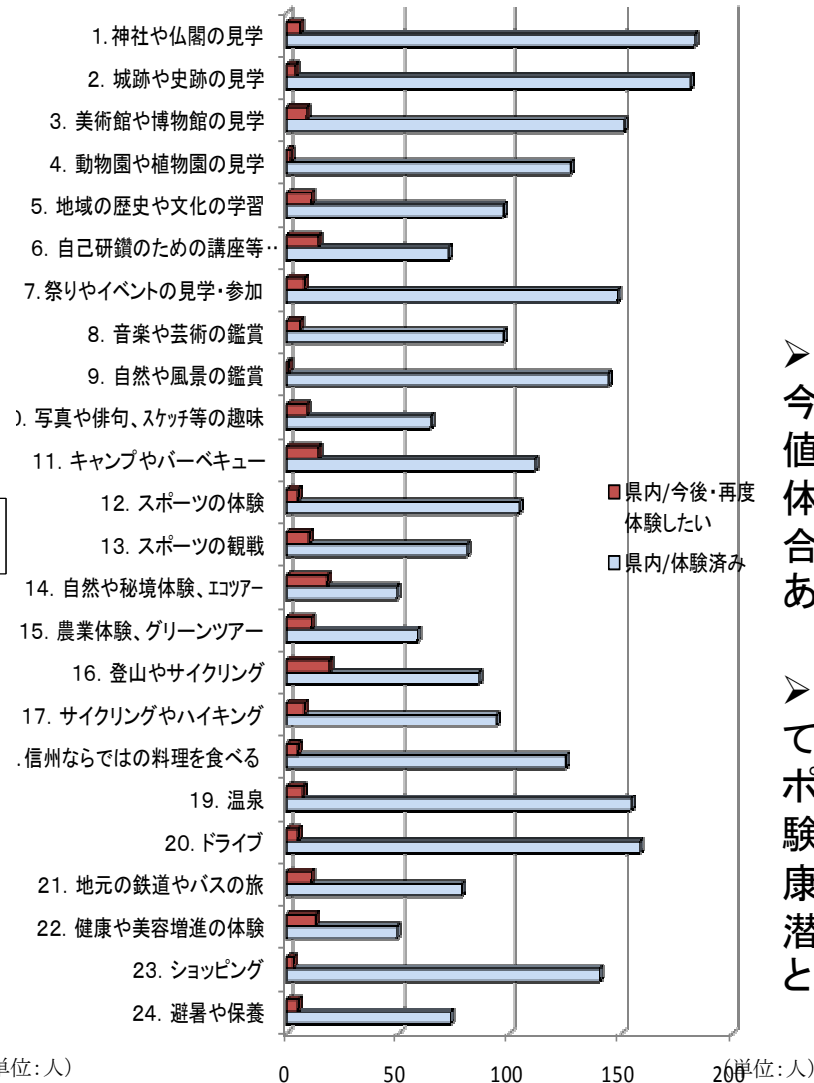
観光地点パラメータ調査(長野県)

※平成23年7-9月調査、n=1175

■県外旅行者の潜在需要



■県内旅行者の潜在需要



➤体験済みの数値と今後の体験意向の数値を比較し、今後の体験意向が上回る場合には、潜在需要があるとされる。

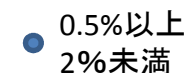
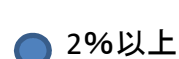
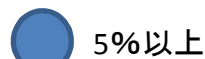
➤県外旅行者については、「自己研鑽」「スポーツ観戦」「自然体験」「農業体験」「健康・美容」について、潜在的な需要があると見られる。

旅行者の周遊エリア(観光地点別①)

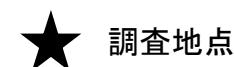
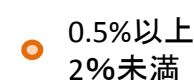
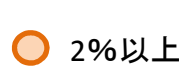
観光地点パラメータ調査(長野県)

■凡例

ここに来る前立ち寄った場所(市町村単位の集計)



この後に立ち寄る場所(市町村単位の集計)



※各観光地点に来る前に立ち寄った場所(市町村)及び調査地点の後に立ち寄る場所について、回答のあった観光地ごとにサンプル数を集計し、全サンプル数に対する割合を算出。
割合の区分別に地図上にマークを記載

■軽井沢ショッピングプラザ(軽井沢町)

主な立ち寄り地点

ここへ来る前	軽井沢観光会館(軽井沢町)	5.8%
	白糸の滝(軽井沢町)	2.3%
	ハルニレテラス(軽井沢町)	2.0%
この後行く	軽井沢観光会館(軽井沢町)	3.4%
	トンボの湯(軽井沢町)	0.8%
	白糸の滝(軽井沢町)	0.6%

■懐古園(小諸市)

主な立ち寄り地点

ここへ来る前	善光寺(長野市)	8.0%
	渥美清こもろ寅さん会館(小諸市)	3.9%
	上田城跡(上田市)	3.5%
この後行く	プリンスショッピングプラザ(軽井沢町)	9.2%
	別所温泉(上田市)	6.2%
	川中島(市立博物館)(長野市)	5.3%

■上田城跡(上田市)

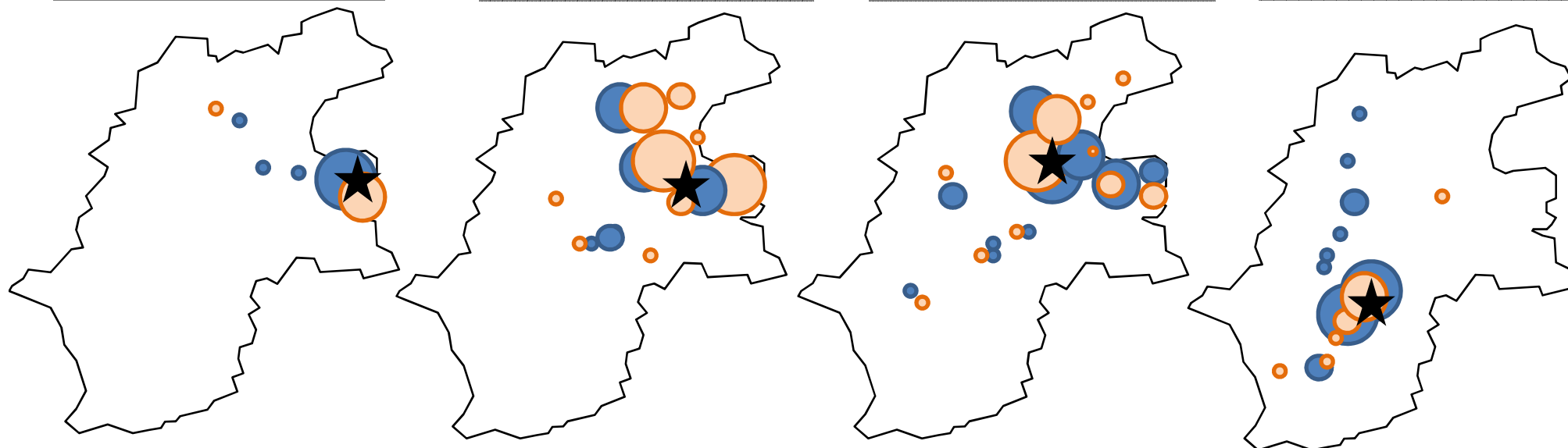
主な立ち寄り地点

ここへ来る前	別所温泉(上田市)	9.2%
	海野宿(東御市)	6.5%
	善光寺(長野市)	5.9%
この後行く	別所温泉(上田市)	18.3%
	懐古園(小諸市)	3.8%
	善光寺(長野市)	3.8%

■羽広温泉(伊那市)

主な立ち寄り地点

ここへ来る前	駒ヶ根高原(駒ヶ根市)	2.6%
	天竜川下り(飯田市)	2.5%
	松本城(松本市)	2.3%
この後行く	かんてんばば(伊那市)	6.1%
	ながた自然公園(箕輪町)	1.7%
	高遠温泉さくらの湯(伊那市)	1.0%

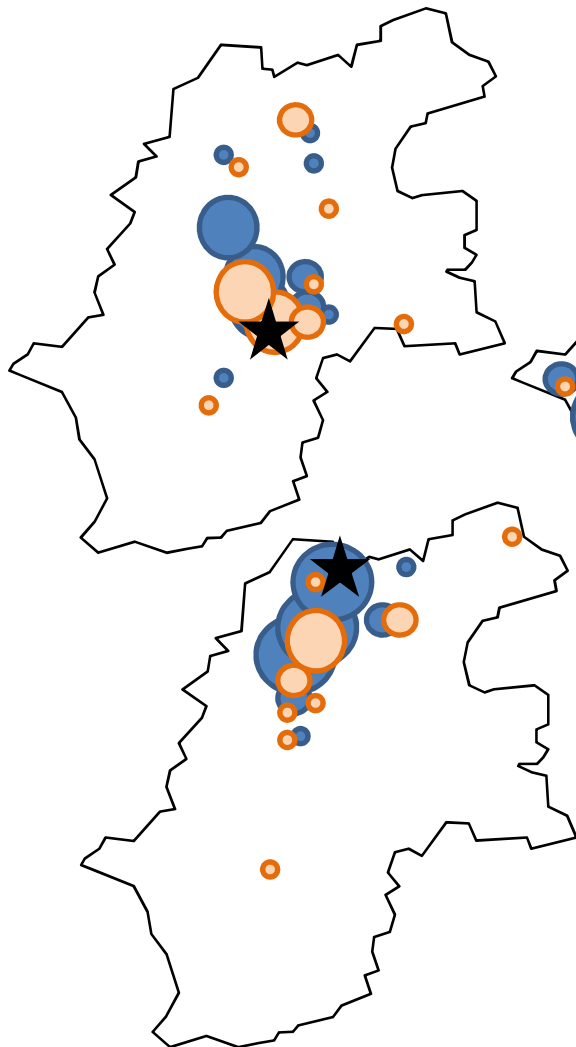


旅行者の周遊エリア(観光地点別②)

■諏訪大社上社(諏訪市)

主な立ち寄り地点

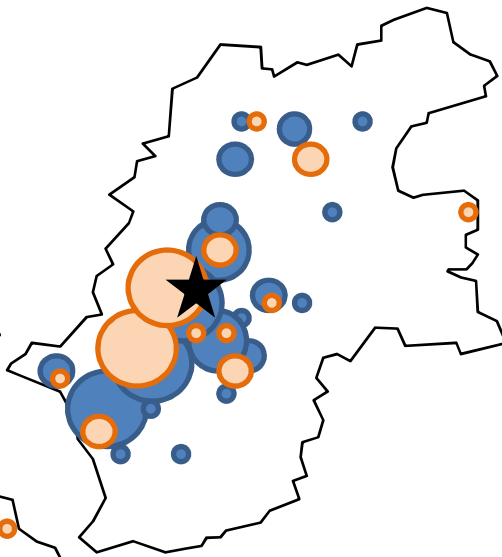
ここへ 来る前	諏訪大社下社(下諏訪町)	6.4%
	上諏訪温泉(諏訪市)	4.2%
	松本城(松本市)	3.9%
この後 行く	諏訪大社下社(下諏訪町)	9.8%
	善光寺(長野市)	3.7%
	上諏訪温泉(諏訪市)	2.9%



■道の駅木曾ならかわ(塩尻市)

主な立ち寄り地点

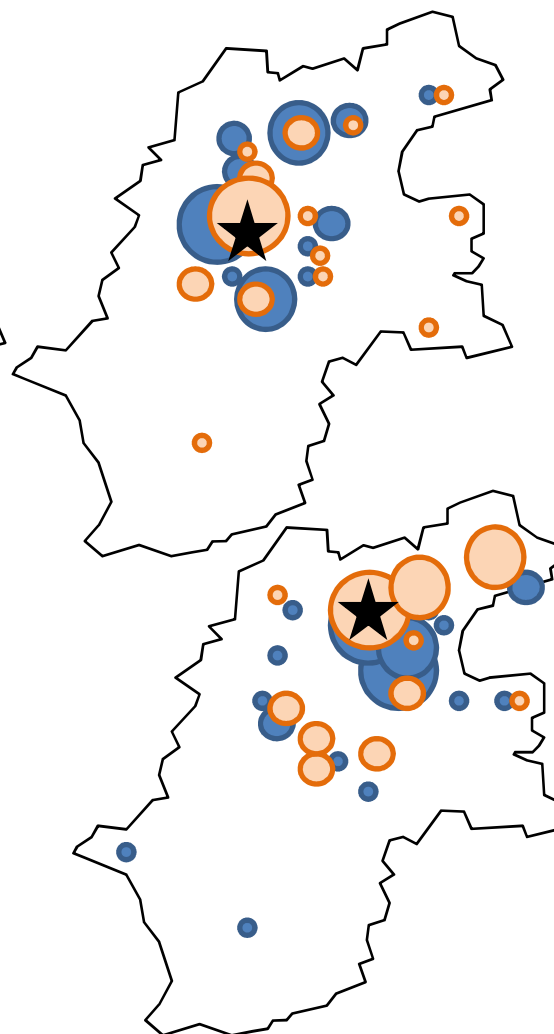
ここへ 来る前	奈良井宿(塩尻市)	12.5%
	寝覚ノ床(上松町)	8.7%
	ながた自然公園(箕輪町)	8.5%
この後 行く	奈良井宿(塩尻市)	8.5%
	開田高原マイアスキー場(木曾町)	4.4%
	松本城(松本市)	4.0%



■松本城(松本市)

主な立ち寄り地点

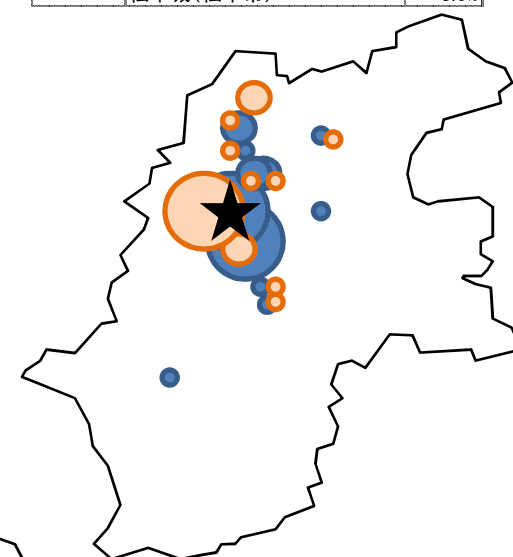
ここへ 来る前	善光寺(長野市)	7.9%
	諏訪大社上社本宮(諏訪市)	6.3%
	上高地(松本市)	3.4%
この後 行く	旧開智学校(松本市)	4.4%
	善光寺(長野市)	3.6%
	浅間温泉(松本市)	3.1%



■堀金物産店道の駅(安曇野市)

主な立ち寄り地点

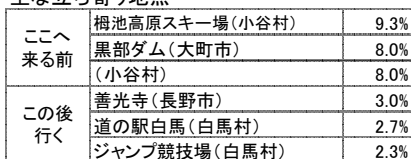
ここへ 来る前	国営アルプスあづみ野公園 堀金・穂高地区(安曇野市)	13.2%
	松本城(松本市)	8.3%
	穂高温泉郷(安曇野市)	3.0%
この後 行く	国営アルプスあづみ野公園 堀金・穂高地区(安曇野市)	12.7%
	とよしな「安曇野の里」(安曇野市)	4.9%
	松本城(松本市)	3.0%



■道の駅小谷(小谷村)

主な立ち寄り地点

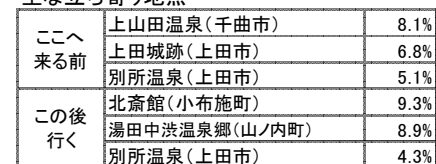
ここへ 来る前	碓氷高原スキー場(小谷村)	9.3%
	黒部ダム(大町市)	8.0%
	(小谷村)	8.0%
この後 行く	善光寺(長野市)	3.0%
	道の駅白馬(白馬村)	2.7%
	ジャンプ競技場(白馬村)	2.3%



■善光寺(長野市)

主な立ち寄り地点

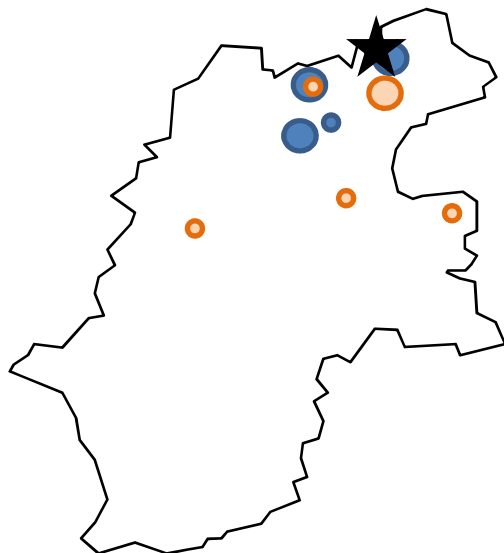
ここへ 来る前	上山田温泉(千曲市)	8.1%
	上田城跡(上田市)	6.8%
	別所温泉(上田市)	5.1%
この後 行く	北斎館(小布施町)	9.3%
	湯田中渋温泉郷(山ノ内町)	8.9%
	別所温泉(上田市)	4.3%



■斑尾高原(飯山市)

主な立ち寄り地点

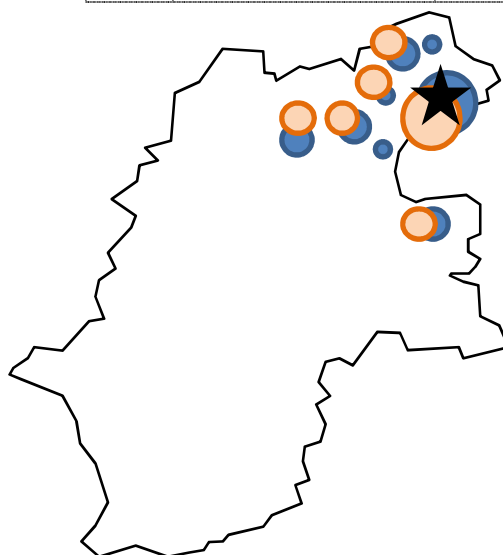
ここへ 来る前	野尻湖(信濃町)	2.2%
	飯山駅観光案内所(寺巡り、七福神めぐり)(飯山市)	2.1%
	松代(松代城跡)(長野市)	1.4%
この後 行く	斑尾高原体験交流施設 まだらおの湯(中野市)	2.1%
	上田城跡(上田市)	0.7%
	プリンスショッピングプラザ(軽井沢町)	0.7%



■志賀高原(山ノ内町)

主な立ち寄り地点

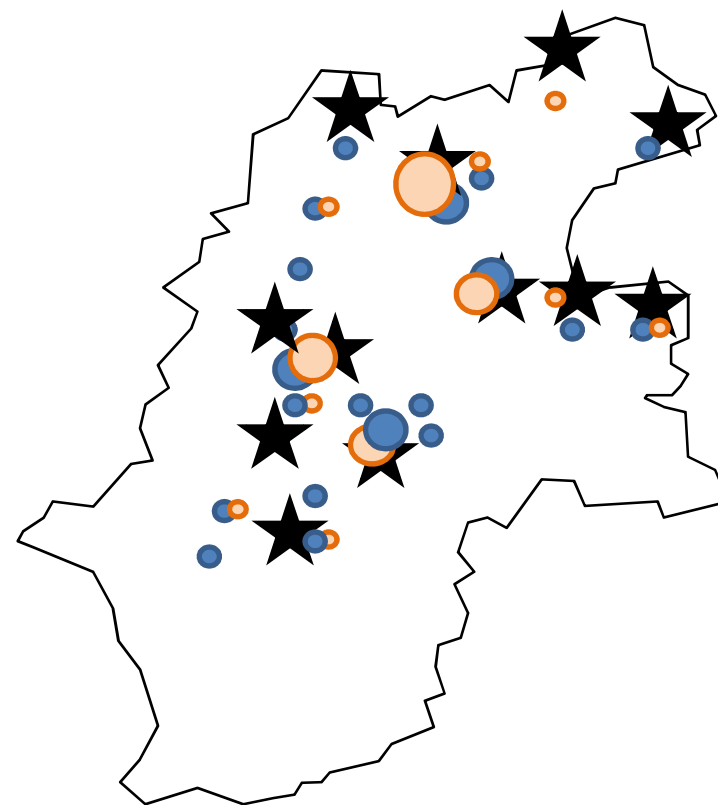
ここへ 来る前	湯田中洪温泉郷(山ノ内町)	6.0%
	プリンスショッピングプラザ(軽井沢町)	4.1%
	飯山駅観光案内所(寺巡り、七福神めぐり)(飯山市)	2.3%
この後 行く	湯田中洪温泉郷(山ノ内町)	8.0%
	飯山駅観光案内所(寺巡り、七福神めぐり)(飯山市)	4.7%
	善光寺(長野市)	4.4%



■全県

主な立ち寄り地点

ここへ 来る前	松本城(松本市)	2.4%
	善光寺(長野市)	2.1%
	諏訪大社下社(下諏訪町)	1.4%
この後 行く	諏訪大社下社(下諏訪町)	2.0%
	湯田中洪温泉郷(山ノ内町)	2.0%
	別所温泉(上田市)	2.0%



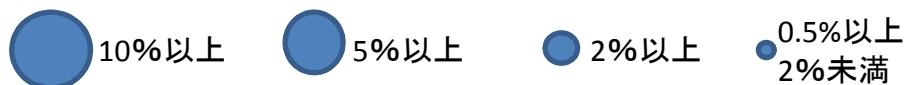
➤観光地点別に見ると、軽井沢プリンスショッピングプラザ、斑尾高原は立ち寄り地点が少なく、他の観光地を周遊する観光客が少ないと見られる。

➤一方、上田城跡や木曽ならかわ、善光寺は広域的に周遊していることがうかがえる。

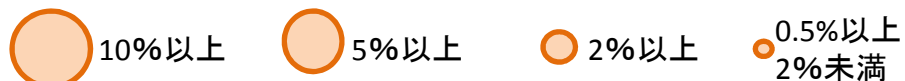
➤全県で見ると、立ち寄り地点として多くあげられているのは、松本城、善光寺、諏訪大社下社などとなっている。

県外旅行者の周遊エリア

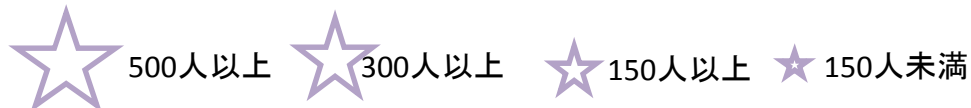
ここに来る前立ち寄った場所(市町村ごと)



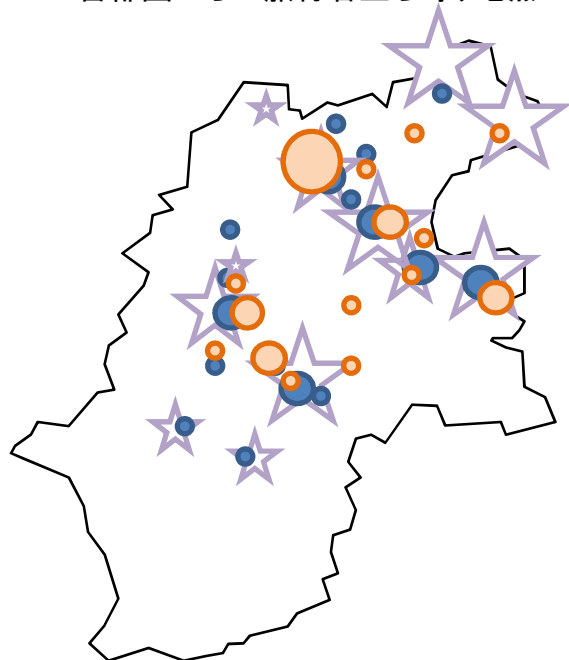
この後に立ち寄る場所(市町村ごと)



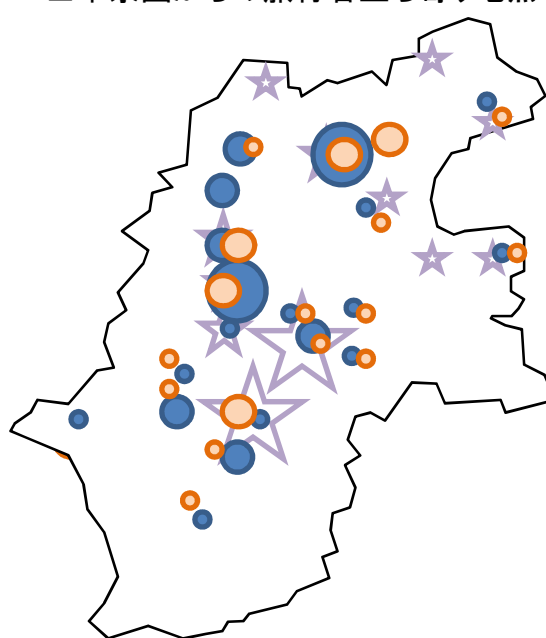
調査地点における圏域の人数



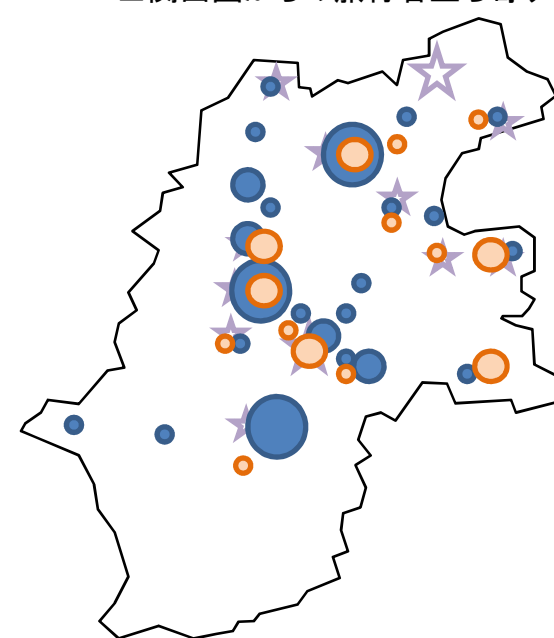
■首都圏からの旅行者立ち寄り地点



■中京圏からの旅行者立ち寄り地点



■関西圏からの旅行者立ち寄り地点



- 首都圏、中京圏、関西圏、それぞれ周遊エリアに違いが見られる。
- 首都圏は、新幹線及び上信越道沿線に集中し、中京圏は中央本線及び中央道・長野道沿線に集中、関西圏は中央本線及び中央道・長野道沿線に集中が見られる。
- 善光寺はどの圏域でも立ち寄り地点としての割合が高い。

地域ブランド戦略サーベイ(株)日経リサーチ)

※調査方法: インターネット調査 回答者: 年齢16歳～69歳
有効回答者数: 19,801人 調査時期: 2010年11月
評価の算出方法: 独自性、愛着度、購入意向、訪問意向、
居住意向の5つの評価項目から総合得点を算出

■地域ブランド力評価

2010年			2008年 順位	2006年 順位
順位	地域名	スコア		
1	北海道	1012	1	1
2	京都府	910	2	2
3	沖縄県	862	3	3
4	東京都	858	4	5
5	神奈川県	810	7	6
6	大阪府	804	5	4
7	福岡県	801	9	8
8	兵庫県	746	6	7
9	長崎県	727	14	12
10	鹿児島県	722	8	9
11	広島県	717	16	11
12	奈良県	703	11	10
13	宮崎県	671	15	28
14	新潟県	665	19	17
15	千葉県	663	18	16
16	青森県	656	17	18
17	長野県	655	10	14
18	愛知県	654	12	15
19	静岡県	652	13	13
20	高知県	637	32	22

地域ブランド調査2011(株)ブランド総合研究所)

※調査方法: インターネット調査 回答者: 年齢20歳代～60歳代
有効回答者数: 30,537人 調査時期: 2011年7月1日～14日
調査内容: 認知度、魅力度、情報接触度、情報接触経路、
観光意欲、居住意欲、産品購入意欲、イメージ、
地域資源評価など67の項目
魅力度については5段階評価で得点化

■都道府県の魅力度ランキング

順位	地域名	点数	2010年順位
1	北海道	70.7	1
2	京都府	53.4	2
3	沖縄県	50.3	3
4	東京都	40.3	4
5	奈良県	34.0	5
6	神奈川県	30.6	6
7	大阪府	29.4	7
8	長野県	28.9	10
9	兵庫県	27.0	8
10	福岡県	26.7	12
11	長崎県	25.9	9
12	静岡県	23.6	11
13	石川県	22.7	16
14	青森県	21.4	15
15	宮城県	21.0	13
16	千葉県	20.9	14
17	鹿児島県	20.2	19
18	秋田県	19.3	20
19	熊本県	18.1	21
20	愛知県	17.7	17
20	広島県	17.7	22

➤両調査の上位4位までは、同じ顔ぶれとなっている。

➤長野県の順位は、地域ブランド戦略サーベイでは2010年に大きく順位を下げたが、地域ブランド調査では、2010年の10位から2011年は8位に上昇した。

統計データから見えるもの



強み

- 宿泊者数は全国で上位に位置している。
- リピーターが圧倒的に多い。
- 首都圏からの旅行者が過半数を占める。
- 首都圏から近い。



弱み

- 平成3年から宿泊者が減少傾向になっている。
- 宿泊旅行単価は全国平均より低め。
- スキー場利用者は平成4年の3割程度まで落ち込んでいる。
- 宿泊施設の客室稼働率が全国最下位水準
- 満足度で上位を獲得している分野が無い。



魅力

- 自然が豊富
- 温泉地が多い
- 伝統・歴史を感じる
- 高原・避暑
- 癒し

